京城日報
廿三日夕刊

定價 本紙一ケ月金五十五錢 三ケ月金一圓六十錢 六ケ月金三圓十錢 一ケ年金六圓十錢 郵稅一ケ月金十錢 廣告料 五號活字一行金七十錢 特別號活字一行金四十錢
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

汽車時間表 (七月十日改正)

◎米海軍大擴張案可決

華盛頓來電に曰く、米國上院は三年計畫海軍大擴張案を可決せり 右案に基き弩級戰艦四隻及び戰鬪巡洋艦四隻は直ちに起工の運びとなる筈なるが之に要する次年度支出額は三億百五十八萬弗にして下院の案よりは四千五百八十萬弗丈多額なり(紐育電報)

◎米墨國境問題と提議

當地に於ては米國政府は墨西哥政府より米墨國境問題に關する紛議を解決せんが爲め委員を設けて之に參加せん事を提議せる通牒を接受せるものと認めらる而して此の問題は既に閣議に上りたるが右に關し外部に洩れたる唯一の報道は目下交涉進行中なりと云ふに在り(華盛頓電報)

◎露軍グムシユカナ市占領

露軍は十耳其領アルメニアのグムシユカナ市を占領せり(聖彼得堡電報)

◎露軍のレンベルグ進擊

墺軍大本營を移さんとす

露都來電に曰く露軍のレンベルグ進軍は次第に勢を得來れり之が爲め墺軍は其の大本營を移轉するに決せり ブローデイ、スタニスロウの陷落近し(倫敦電報)

◎墺國軍事御前會議

維納來電に曰くマツケンゼン將軍は頗る重大なる要件を帶びてフランツヨセフ皇帝に謁見せり夫れより軍事會議數回引き續き行はれ首相陸軍大臣參謀總長等之に列席せり(倫敦電報)

◎獨逸大々的媾和反對運動

ウエルデル侯を總裁とし八月一日より獨逸全國に亙りて媾和問題に對する政府擁護の爲め大々的運動を爲さんとする計畫を見るに至りしが其の所以は目下保守黨及び國民黨の一部は宰相ベートマンホルウエヒの政策を以て微溫的に失すと爲し且宰相の媾和問題に關する意見は獨逸の將來を危くするものなりとし反對の氣勢甚だ高く延いて國論の統一を破りて政變を催す虞あるより宰相の同情者は政府の意を受けて斯かる運動を計畫し以て極端論を抑壓せんと試みたるものに外ならず(紐育電報)

◎日置公使東上

日置駐支公使は二十三日朝神戶に上陸直ちに東上せり(東京特電)

◎章公使神戶著

新任駐日支那公使章宗祥氏は蜑中丸にて二十三日朝神戶上陸三、三の歡迎會に臨み同夜の急行列車にて東上す(大阪特電)

◎列國の元兇保護

過般被罰の帝政元兇は多く天津上海の租界に潛居せるが北京外交團は彼等を國事犯と見做し之れを保護すること一決し各自國領事に對し其意味の訓令を發したり又北京政府にては彼等を內亂兇徒として其引渡を列國に交涉せんとの意見ありしも其實行され難きを以て引渡交涉を行はず唯だ缺席裁判を以て彼等の罪狀を宣布し並に內亂罪に照し懸賞を以て捕拿に努む可しと(北京)

◎私立學校減少

官公立學校の普及增設に伴ひ私立學校の數逐年減少し來れるは敎育機關の統一上寧ろ喜ぶ可き現象なりと謂ふ可く其趨勢を見るに本年五月末日現在に於ける朝鮮人敎育私立學校數を見るに各道を合し一般學校六百四十校、宗敎學校四百二十二校合計一千六十二校にして本年一月以來新設されたるものは皆無なるも一般學校五十二、宗敎學校二十三合計七十五校の廢止を見たり又た之れを前年末に比すれば一般學校に於て五十三校宗敎學校に於て二十一校合計七十四校の減少を示せり

◎所得稅令施行

朝鮮所得稅令は過般の閣議に於て可決確定したるを以て酒造稅改正令と共に兩三日中に御裁可を仰ぎ公布の運びを見る可く其の實施期は多分酒稅令と同樣なる可し但し本令は鮮內の狀情に鑑み個人の所得は之れを包容せず專ら法人に對してのみ賦課するものにして其稅率は株式會社千分の六十二、五以下總て內地現行の稅率と相違なし、而して總督府は之れに依り經常部の歲入に十六七萬圓を增收し得可き豫定なるもの丶如し

◎モリソン氏出發

二十二日夜滿鮮直通列車にて入京朝鮮ホテルに投宿せる支那總統府顧問モリソン氏は廿三日朝英國領事館を訪問せり氏は廿四日午前八時卅分南大門驛發汽車にて退京東上の筈なり

◎仁川昨今廻著米

既報の如く仁川に於ける近來の廻著米の數は大に增加を見たり今本月十五日以後に於ける仁川驛其他の調査によれば其總數八千二百三十五叺にして此中仁川驛廻りの分五千七百三十叺にて之を細別すれば大田二千百叺水原千四百叺淸道三百五十二叺釜山三百二十五叺江景三百三十七叺論山三百二十五叺金泉四百六叺沙里院四百八十五叺にして此外に船便によるもの二千五百五叺は群山より廻著したり而して之等の荷受者は不二支店(日仲買店力武精米所吉金庄野兩商店)にして不二支店へは主として沙里院太田論山江景群山等にして吉金商店へは群山方面より船便により又庄野商店へは水原及び大田の兩地方武精米所へは水原日仲買店には金泉より廻著したるもの丶如く此中仁川檢査部に於ける檢査の結果優等米として合格せるものは吉金商店へ廻著せり水原より廻著せる籾苗の『玉錦』と稱する東拓米にして之等廻著米は他道檢査の檢査を受けたり總じて之等の査定は査的が大部分を締め餘は仁川の檢査により査定せられたるものなるが前記水原より廻著せるもの及び不二支店に沙里院より來著せるものとは共に特等の決定を見たり右二種は近來稀有の品質良好なるものにして又乾燥程度に於ても完全にして前記廻著米の用途は大部分仁川定期受渡の準備米に供せらる丶ものにして精米所にて精搗せらる丶ものは頗る僅少に過ぎず以上廻著米の中にて他道檢査地の證印あるものは黃海道方面に於ては沙里院京畿道にては水原の兩地にて右二道よりの廻著米は仁川の檢査を受けたる結果特等の査定を與へられたる事は前記の通りなるが近來此種の新種米が沸々として廻著するは仁川當業者の最も歡迎する所なると共に頗る悅ぶ可き傾向なりとす斯くして近來檢査上に漸時多忙を加ふるに付檢査係員は執務時間を延長して當業者の利便を圖りつ丶ありと(仁川)

◎江原蠶繭資金

漢湖農銀の貸出成績

漢湖農工銀行にては江原道廳と協議の上同道各郡廳を通じ春蠶々繭資金を各養蠶家に貸附けしが其の方法は各養蠶家の收繭量を時價に見積りて七掛乃至八掛けの金額を前渡し其の產繭は郡廳にて取り纏め共同販賣に附して決算の上殘額を養蠶家に交付するものにて其總額は豫定より頗る增加し春川四萬三千二百圓原州一萬七千圓江陵三萬圓鐵原一萬六千圓合計七萬九千二百圓に達し其の貸附戶數三千餘戶を越たるが一方回收は去十七八日頃より逐日一千圓內外宛の入金あり道內にては例年免れざりし奸商の附け込みを防禦し地方財界を緩和し其の納稅成績を良好ならしめたる事は著しく大體に於て成績良好也と

◎上半京城貿易

六月上半の京城通關貿易は輸移出九萬三千零五圓にて輸移入三十三萬七千五百零三十二圓にて一月以降の累計は出九十七萬八千三百五十一圓入六百六十萬八千七百九十圓なりと

◎元山漁業近況

各種漁業團の引揚げたる以來漸次沈誶の狀態に陷れる元山近海漁業は其の後更に時化續きにて大敷の如き各所共全く振はざるのみならず延繩は餌不足の爲め極めて閑散に經過しつ丶あり從つて目下魚相場は一般に五割以上高を示し居れり

◎慶尙農銀支配人更迭

慶尙農工銀行支配人今井武人氏は家事の都合により今回辭職し農銀草梁支所長法學士中岡赫雄氏是が後任に決定不日事務引繼をなすべしと

元山

▲日露協約祝賀準備 既報日露協約祝賀會發起の下に擧行さるべき日露協約祝賀會に就き選定されたる委員は二十日午後一時より商業會議所に集合協議の結果來る八月一日午後六時より商業會議所樓上に於て祝賀會開催する事に決定したるが當日は大隈首相石井外相寺內總督露國大使京城駐劄總領事等に宛祝電を發すべしと▲商議評議員會 元山商業會議所に於ては去る十八日午前九時より發起人總代及び役員全部會合の上議定したる第二回目評議員會を二十一日午後一時より開催し豫算の件に就き協議するところありたり因に同會議所は過般互選の結果決定せる會頭及び外役員全部の認可申請中なれば之れが認可に至る間は發起人總代名谷氏の名義に依り評議員會召集其他を處理すべしと▲大隊檢閱と加藤大佐 步兵第七十四聯隊第一大隊(元山)第二期新兵敎育の檢閱は豫期以上の好成績にて二十日無事終了加藤聯隊長は同夜出帆の昌平丸にて歸隊せり▲元山沿岸旅客統計 本年一月より六月までに於ける元山港海路旅客の出入を見るに往客一萬二千五百卅一人來客一萬一千一人合計二萬三千八百三十二人にして之れを前年同期に比する時は往客に於て二千六十六人來客に於て一千四百七十人何れも增加を示し居れり▲元山府現在戶口 客月末調査に係る元山府管內戶口數及び居住者數を見るに內地人一千八百二十七戶六千七百七十二人朝鮮人三千三百五十四戶一萬四千六百四十六人にして支那人九十四戶三百七十四人其他外國人十六戶四十人に上れり

文川

▲文川驛輸送狀況 文川驛に於ける客月中の貨客輸送狀況を見るに旅客は乘車人員一千一百二十八名下車人員一千二百二十八名賃金總計三百六十五圓四錢にして貨物は發送六十八噸到著三百八十九噸發送小荷物三百九十斤到著小荷物五百十一斤發送手荷物九百六十五斤到著手荷物千八十九斤之等總計金額四百五十七圓六十二錢を算せり▲文川農況 客月中は降雨潤澤なりし結果文川地方に於ては馬鈴薯の結實充分ならざりし外一般農作物は發育頗る良好なるを以て今後天候に異變なき限り概して平年作以上の收穫なるべしと

平壤

▲理事更迭 慶南河東郡河東地方金融組合理事泉山俊次郎氏は今回平安南道龍岡地方金融組合に轉任を命ぜられ七月二十二日平壤を經て任地に向へり▲平壤と市街鐵道 平壤人車鐵道本年六月中乘客人員總數は六千六百九十九人にして賃金四百二十三圓〇九錢なりと一日乘客平均七百四十四人也

鎮南浦

▲鎮南浦の漁業 鎮南浦の漁業は大同江に於ける魚族豐富にして漁獲數年に增加し水產會社は之れが販路の擴張に努め居れるが目下漁業者內地人五十八人朝鮮人四十六人販賣業者內地人七十五人朝鮮人二十三人漁船の數內地人卅三人朝鮮人七人なり▲賴母子講の盛況 鎮南浦の賴母子講は一時非常に盛況を極め明治四十四五年の頃銀行業者をして杞憂の感を抱かしめたることありき而して其數七五其講金高總計二萬八千五百十一圓に及びたることありしが今日に於いては其數三十八講小資本の商人は之に依りて資金の融通を爲し一時を緩和して生活しつ丶あるが幸に何等の弊害なく一種の共濟的の意味を以て經營せられつ丶あり▲學校組合の狀況 南浦學校組合は南浦府及龍岡郡の一部を編入し十七個の町里より成る組合戶數一千三百六十八其職業別を明示すれば農業五二戶商業二二三工業二九漁業二二官公吏會社員一三四神官僧侶八雜業八七六無職業者二四なり▲鎮南浦の銀行 南浦の金融機關としては朝鮮銀行と農工銀行との二あるのみなるが本年四月末日に於ける朝鮮銀行定期貸付金は四千四百三十圓普通貸付金三十五萬三百八十一圓當座貸附三十五萬四千三百八十一圓諸手形の割引は八十五萬五千五百二十一圓なり而して平安農工銀行の貸付十四萬三千二百四十三圓にして普通の貸付十六萬八千六百八十一圓當座貸越三萬三千五百八十圓割引手形五萬四百七十六圓也と

大田

▲工事著手 大田沃川間鐵道改築工事は一區沃川方面より自零哩七〇鎖至四哩十九鎖間鐵一郎二區自四哩十九鎖至七哩二十五鎖強木下嘉平三區自七哩二十五鎖至九哩七十鎖淺田淸太郎の三名白川組より下負を爲し現場踏査を終りたるを以て二十三日第一區より工事著手の由▲儒城出水被害 去る十九日午後九時頃より猛雨襲來あり爲めに儒城川は俄に增水し上流四十間下流五十間の堤防決潰し共に濁流押し來り溫泉特等湯は浸水し其他內鮮民家三十戶浸水半潰二戶を生ずるに至れり夜中突發せし事とて非常の混雜を爲したるも憲兵出張所々員の活動に依り人畜に被害なかりき其爲め溫泉株式會社及び矢切軟治の三氏共同にて金百五十圓を醵出し同堤防の修繕を行へり▲電氣總會 大田電氣株式會社、興業株式會社にては來る廿五日株主總會を開き半期決算報告をなす筈

公州

▲檢事正著任 公州地方法院新任森浦檢事正は二十一日午後一時鳥致院より自動車にて著任官民の出迎盛なり▲山口判事出發 京城地方法院へ榮轉せる山口判事は二十二日午後一時任地へ向け出發官民の見送り盛なり▲各郡守歸任 會議の爲め來公中の各郡守は何れも二十一二兩日中に歸任

釜山

▲商議役員會 釜山商業會議所にては二十四日午後一時より役員會を召集し大池會頭より商船學校運動に關する經過を報告したる上評議員開會期日並に同會議所給與規定其他に關する件を協議すべしと▲露領事晚餐會 釜山府駐在の露國副領事スコロツーモフ氏は過般釜山官民の主催せし日露協約祝賀會に對する答禮として若松府尹其他の發起人を去る廿二日午後六時より同領事館に招待して晚餐會を催うしたり▲水泳會開會式 釜山各學校聯合水泳會開會式は去る二十二日午前九時より第五尋常小學校に於て擧行したり先づ來賓一同著席するや星野幹事開會の辭を述べたる上會長花田校長の水泳に關する一場の訓示あり午前十時閉會せしが入會者は五百十四名にして晴天次第水泳を開始すべしと

人事消息

▲砂山觀氏(門司バケナル、セレス會社員) 二十三日朝入京天眞樓へ
▲沖直道氏(砲兵大尉) 同上
▲柳部荒眼氏(實業家) 同上
▲岡田虎輔氏(專賣課技師) 出張中の處二十二日夜歸京
▲總理田諸喜氏(久留米運輸課長) 入京中の處二十三日朝退京
▲玉塚榮次郎氏一行五名 入京中の處二十一日朝退京
▲若松憲兵中尉(新任龍仁憲兵分隊長) 二十二日夜內地より入京新井旅館へ
▲李軫鎬氏(全北道長官) 二十三日朝出發歸任
▲黃支那副領事(京城駐在) 二十三日朝永登浦へ
▲篠田顧氏(釜山地方法院晉州支廳檢事) 二十三日朝入京淸光館へ

社告

今回本社大邱支局より販賣部を割き大邱元町一丁目

日進堂 堺萬次郎

に配達集金一切の件を本七月分より委囑仕候間此段謹告仕候
追而前支局當時即ち六月以前の未收金全部の徵集方も一切同店員に申候間集金用務にて同店員參上致候節は御支拂被下度御願申上候
大正五年七月二十二日
京城日報社販賣部

朝鮮總督府許可
人蔘エキス
人蔘直引大販賣所
滋養强壯 人蔘エキス 朝鮮名產 一切藥餌
內用精能 神經衰弱、神經痛、老衰、痳病、胸病、痔病、子宮病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養强壯劑なり
外用精能 神經痛、僂痳質斯、火傷、凍傷、切傷、打物傷、腫物、肩の凝、虫に螫れたる時、筋の張り等によし
定價 六十五錢 二十五錢 四十五錢 三十五錢 一圓六十錢 二圓五十錢
製造發賣元 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五二
特約店 京城本町二丁目 北島藥房 京城南大門通五丁目 古城藥房 京城本町三丁目 廣岡藥房 松屋 阿部藥房

M.E.P. 大阪 田邊五兵衞 發賣元

◎秋蒔種子新荷著

品名	單位	價
美濃早生大根	一升に付	九十錢
練馬大根	同	八十錢
宮重大根	同	八十錢
聖護院大根	同	九十錢
方領大根	同	八十錢
聖護院蕪	同	八十五錢
近江蕪	同	八十錢
天王寺蕪	同	八十錢
千筋京菜	同	八十錢
壬生菜	同	八十錢
朝鮮白菜	同	一圓五十錢
開城白菜	同	二圓廿錢
芝罘白菜	一合に付	五十五錢

其他いろ〳〵
營業案內御申越次第進呈
京城旭町二丁目 三輪種苗店

購買廣告
一、日本毛織株式會社製特參號 約八碼四分
右購入ス見本ハ京城監獄ニ備付ス希望者ハ總督府官報閱覽ノ上本月二十四日ヨリ入札ヘシ
大正五年七月二十四日
光州監獄

物品購買公告
一、精白米三十三石八斗外百二十四旅
此ノ入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府內ニ於テ國稅地方費府稅學校組合費年額三十圓以上ヲ納ムル者ニシテ一ケ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
以上大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望者ハ本府ニ就キ品名數量等熟覽ノ上本月二十八日午前十一時限リ同會計係ヘ入札スヘシ
右依テ公告ス
大正五年七月廿二日
京城府

◎夏物紺セル洋服
鐵道局拂下品
一等無キズ品 壹組 五圓五拾錢
二等品 壹組 參圓五拾錢
三等品以下 壹組壹圓迄 貳圓五拾錢
其外雨合羽冬絨洋服外套類
和服 洋服商
龍山元町二丁目
金子奥市商店
電話一〇五番

カオール
生き返つた樣に好い氣持
人に接する時 惡疫流行の時 病氣見舞に行く時 食後、人込の時等最も必要である
特長 ▲他人の惡氣を豫防し ▲心身の疲勞を恢復し ▲精神爽快、元氣旺盛
オリヂナル本舖 東京 安藤井筒堂
關西總代理店 大阪 藤森源之助
暑さや疲勞に必ずカオール
衞生口錠
ヒスイ色 まが玉形
カオール一袋五錢 二百二十粒

白松 ……通義洞東拓舍宅構内……

◎自動車の地獄落し
陸軍自動車隊天谷班長の苦心談

陸軍自動車隊は去る十二日東京出發以來途中幾多の困難を排して豫定より一日早く

▼九日間を費 して廿一日午前一時十五分班長天谷少佐以下將校八名下士十三名兵卒二十二名合計四十四名は五臺に分乘して無事大阪到著直に輜重兵第四大隊に入り自動車は營庭假格納庫に納め將校は銀水樓に下士卒は第二中隊兵舍に投じたり一行は廿四日歸途に就く豫定なり天谷少佐は語つて曰く『十二日に出發して十日間の豫定であつたが九日目の今日著く事が出來たのは先づ大成功だと思ふ距離は大阪まで三百六十八哩此内で最も難物とせられた

▼難所が八箇所 あつた、即ち峠では碓氷、鳥居、和田、飯田、太平、木曾渡船場では岐阜の太田と長良川である、道中は概ね天好氣であつたが碓氷では雨にも逢ひ、又夜間の行進もやつた、其間衛生狀態は極めて良好、隊員の元氣は旺なもので軍用自動車たるの能力は可なり發揮されたと思ふ、何しろ自動車自體の重量六百貫之に隊員平均八人強と諸器具四百貫を積込んで總重量一千貫といふのだから堅し氣な道路や橋梁には隨分惱まされた譯である、尚ほ今回の道程中最も速力の少いレコードは碓氷の一日に五哩之は橋が折れるやら川へ陷るやらで

▼復舊十一時間 も費した爲めである、而して最大速力のレコードは最後の日、即ち本日の岐阜大阪間九十哩であつた尚ほ今度の經驗の結果を總括してみると殊に險惡であつた岐阜縣下御嵩村の南に當る次月の堤防と太平の下りとが研究としても經驗としても實に屈強なるもので殊に太平峠の下りの如きは七分の一の急坂で且一方は斷崖絶壁一方は千仞の谿谷で然も極度の屈曲である其の曲半徑即ち道の曲度合が六米突である然して自動車の最小限の曲り度合が六米突と來て居るから全く一寸の餘地もない始末隨つてホンの心ない程の巴手の捻遊ひがあつても車は忽ち兵倒樣といふ有樣である然し

▼茲も先づ無事 に行り越したのは實に愉快である次に豫て行つた滿洲の研究と今度の經過とに徴して自動車操縦者は餘りに沈著なものや餘りに慧敏な性のものは共に可けない双方に極端なものは碓氷の樣な嶮路に掛つたが最後地獄落しの悲業を見るは請合である隨つて軍用自動車操縦者の選抜は餘程困難な事であるが又見方に據つては極めて興味ある研究問題だと信ずる(大阪)

◎盛なる提灯行列
仁川の日露協約祝賀會

仁川日露協約祝賀會は二十二日午後七時より仁川小學校雨天體操場に開催せり定刻に至るや會員約四百人入場著席し奥田商業會議所會頭壇上に立ちて開會及び祝賀の辭を述べて壇を下るや和田書記長は在東京露國大使及び石井外務大臣寺内日露協會長に宛て祝電を發し併せて京城露國領事に對し本席に招待狀を差出したる處公務の都合により出席し能はざる旨同答ありたる事を報告し終りて立食の宴に移り同八時より校庭にて一同集合し本社の旗及び大提灯を先頭に樂隊之に次ぎ熱狂せん計りなる多數の市民は手に手に紅提灯を提げ本社支局大行燈二個を殿として同所を出で京町通を仲町に向ひ府廳前にて萬歳を三唱し軍歌を謡ひながら本町宮町を過ぎて仁川神社に至り同社拜殿前に集合萬歳を三唱して解散せるが宮町通りは時ならぬ雜閙の爲め賑ひを極めたり(仁川)

◎給漁場の閉者 鎮南浦瓶井人九名を雇入れ去十一日船にて同地[illegible]船及び器具諸共沒收すべしと恐ろし

◎松二本で笞三十 平安南道德川郡[illegible]笞三十に處せられたり

[illegible]

◎三十名の馬賊
鴨緑江採木公司分局を襲ふ

二十一日午前十時頃約三十名の馬賊鴨緑江上流の採木公司帽兒山分局の作業所を襲ひ護衛中の巡警七名と交戰巡警賊徒各一名戰死し邦人一名重傷、巡警三名輕傷を負ひ日支人各一名行衛不明となりたりとの急報に接し帽兒山巡防隊兵士は直ちに出動せり(安東縣特電)

◎豪遊中に捕縛
十數個の合鍵を携へる賊

京城蜆底洞金燦榮(三二)は強盜罪に依り懲役十五年の處分を受けて此程出獄したるのみなるにも拘らず京畿道楊州郡榛接面八重里生れの古物商金浩男(三)と共謀し燦榮は十數個の合鍵を携へ六月九日夜鍾路三丁目毛物商韓字煥方に赴き合鍵を以て錠前を外して侵入し木綿反物四十反外二百五十點(六十餘圓)を竊取せしを手初めに京龍市内にて外十二箇所の内鮮人方より自轉車、衣類雜品等五百餘點を竊取し其都度贓品は金浩男が郡部の市場に持ち行きて賣捌き北米倉町並木町の娼家にて豪遊中此程南陽警察署の手に逮捕されたり

◎大膽不敵の賊

京城觀水洞生れ住所不定の田錫換(二八)は殺人未遂前科一犯あり目下刑の執行猶豫中なるにも拘らず七月十二日夜本町三丁目樋下田某方家人の不在を見澄まし裏手の塀を乘越ゑて勝手元より侵入し銘仙男羽織外衣類二十六點雜品數點(二百五十二圓餘)入の柳行李一個と銀側懐中時計一個(三十五圓)とを悠々と表口より持ち出し豫て雇ひて連れ來りたる擔軍に背負はせて南大門通五丁目下宿屋朴命厚方に持ち込み翌日時計及び衣類八點を義州通遠田質屋に金二十五圓に入質せんとする所を豫て怪しと目星をつけたる本町署の刑事に引致され取調べの上檢事局へ送らる

◎拾て砂に埋む

京畿道廣州郡九川面鳳納里煙草業元德仁(五)は七月十日京城より麻浦を經て歸郷の途次高陽郡纛島面箭串橋附近の路上にて風呂敷包一個を拾得し披見せしに中には現金百六十圓入り居れるより之を隱匿し引返し來れる遺失主に訊ねられたる際拾得せずと答へしも遺失主は怪しみて附近の巡査駐在所に屆出でたるより德仁は急遽纛島渡しを經て對岸の砂原を逃げ行く所を追手の警官及び遺失主に追跡せられたれば右の現金は砂中に埋沒したるを發見され同人は高陽署に引致されたり

◎死刑から無罪

大阪府下箕面村内藤卯市(三)は豫て低能兒藤澤義任を絞殺し同人の實母を絞殺せしめたる爲め一審にて死刑となりしが二十二日控訴院にて證據不充分の爲め無罪となりたり昨は死刑の宣告を受け今無罪の言渡を受く聖代の一痛恨事と謂ふべし義任はそれが爲め懲役十年服役中なり(大阪特電)

◇政務總監の傑作
原田朝鮮社長の音吐朗々

日露協約祝賀會が朝鮮ホテルの大食堂で催ほされた時の事である發企人總代で挨拶した原田朝鮮社長の挨拶振りが頗る上乘で殊に其音吐は朗々として流石の大廣間の隅から隅迄響き渡つた──一體原田社長はお年に似合はず共れは〳〵朗かな聲の所有者で彼れで大津繪か鈴錆かをムッソリやつてゐるのを襖越しに聞き惚れた人は鮮くは無い程なのだ──

挨拶が濟んで席に著いて「俺の演說の評判は?」と汗を拭ふハンカチの下から例の若々しい圓い眼を働かしてゐると、側から盛んに聲が湧出して來る『彼れ丈け徹底した聲を出す事の能る人は京城では鳥渡見附けられない』だとか『全く少々聲が大だつてよく判りますネ』

『一體原田さんは彼處に太い聲を何處から出すんでせう』と云ふ聲のまだ終らないうちから側にニコ〳〵してゐられた山縣政務總監が突然『そりや君ハラダ〳〵』で一同ドッと大笑ひ。

◎獨採鮮人歸る

黄海道海州郡生れ安奉根(二九)は獨採の嫌疑にて神戸より追ひ返されしが二十二日神戸署取調の上歸鮮の途に就けり(大阪特電)

◎金剛山中の騷擾

二十日江原道金剛山中の三井重石鑛山に於ては鮮人二百餘名は内地人監督と衝突したるが内地人は之を制せんとして發砲し鮮人には負傷者を生じ一時は大騷擾を極めたりと

◎津村大尉の遺骨

重大なる秘密任務を帶び支那にて疑問の死を遂げたる步兵第三十九聯隊副官大尉津村爲三郎氏(三五)の遺骨は二十三日神戸著直ちに姬路に廻送せり(大阪特電)

◎天罰は覿面
江原道蔚珍郡

北面德邱里農田大年妻金大福(三八)は三年以前大年が無斷家出して行衛不明となりたるより昨年中同里の金聖培なる者と私通して姙娠し本年三月中女兒を分娩したるも世間態を恥ぢ嬰兒の處置に窮したる結果直ちに壓殺し密かに同里の大谷と稱する谷間に埋沒したること此程發覺し蔚珍憲兵分隊の手に逮捕されたり

◎退鮮命令違反

境玉縣北足立郡六辻村生れの中田定雄(三三)は大正三年十月二十四日其筋より向ふ二箇年間の退鮮命令を受けたるにも拘らず再度渡鮮して各所を徘徊中捕へられ大邱地方法院にて懲役一箇月の處分を受け出獄したる後本年七月初め龍山に流れ込み居れるを退鮮命令違反として憲兵隊に引致され檢事局へ送られたり

◎冷水で子を殺す
咸北慶源郡

波面檜洞李姓女(三七)は丁文柱の妻となり六人の子を産み内三名は生存し居れるが本夫文柱が露領に出稼中近隣の金權命と情を通じ遂に姦夫の種を宿し本年五月二十一日自家溫突の焚口に於て女兒を分娩したるを取ち翌午前二時頃生兒の口中に冷水を流し込み窒息せしめ死體は自家より北方の山野に埋めたる事發覺し咸興地方法院檢事局に廻さる

◎平壤初日取組
東京相撲の

一行は二十四日元山の興行を終り二十五日平壤に乘込む由なるが平壤に於ける前景氣は甚だ盛んにして棧敷の大部分は平南の好角家連が買ひ占め團體見物としては平壤の各團體は勿論鎮南浦の三百五十餘名を初め安州砂里院黄州兼二浦順安等より續々申込あり平壤檢番藝妓も總見物を爲すべく目下相談中なりと尚小屋掛は二十三日迄には竣成し二十四日凡ての裝飾を終る由而して初日取組は左の如く決定したり(平壤)

龍ケ崎	港	稻葉嶽	宮木山
四海波	常の花	逆鉾	小常陸
梅川	近江富士	源氏山	紫雲龍
岩木山	朝緑	釋迦嶽	大の川
栃木山	宇都宮	西の海	錦
九州山	兩國	對馬洋	大綾

◎憤つて放火
咸北慶興郡

雄基面雄基洞郭永俊方居牛皮商金仁鉉(三九)は七月七日同洞蔡美鳳(三二)と他にて落合ふ約束をなし同夜美鳳方に赴きて呼び起したるも一向に應答せざるより大に憤りマッチを以て同家の表障子に放火して一部燒失せしめ雄基署に檢擧せられ清津支廳檢事局へ送られたり

◎元山の海開き

元山の海開きは既報の通り愈々來る八月一日を以て行ふこととなれるが當夜は大團平船二十一隻を滿船飾に艤裝し每船數百個の紅提灯を揭げ之を七隻づゝ三船隊に編成し各隊共小蒸汽船を以て曳船し別に警護の爲め一隻の小蒸汽船を出し斯くて午後十一時過まで艦隊運動を爲すものにて各團平船は一町内一隻の割當にて町民乘り込む由尚ほ長德島附近に於て數十發の煙火を打ち揚ぐる筈なりと(元山)

◎厄介な醉漢

黄海道海州生れの金敬植(三)は七月十日京城黄金町三丁目飲食店李召史方にて飲酒の際同家の娘柳奇子が酒席に侍らざるを憤り同女を表道路に引出して毆り飛ばし之を制止したる李召史をも踏み躙りて治療四週間を要する傷害を負はし本町署に引致され檢事局へ

◎外交員は盜賊

忠北槐山郡邑内仁山里生れの洪承烈(三二)は前科二犯あり京城明治町二丁目小林某の經營たる朝鮮副業獎勵會機關雜誌『朝鮮の副業』の購讀勸誘及廣告募集の外交員として從業中本年四月二十八日より六月末迄に取立てたる雜誌代並に廣告料金の内金十一圓餘を橫領し著服し尚六月四日水原宿屋李基魃方に止宿中同宿人なる洪承瓚の所持金十圓を竊取逃走したる爲め檢擧せられ京城地方法院にて懲役三年六箇月の處分となりたり

◎京城府内の巨樹珍木(一)
樹齡約六百年の白松 太さ廿四尺の大銀杏

總督府に於ては過般各道に通牒を發して史蹟に關係あるもの及び學術風致其他諸種の關係上保存を要する樹木を調査中なるが京城府にて調査せる處に依れば京城府管内に在るものは

▽凡そ四十八本 にして其の樹種は白松四本朝鮮松一、カイツカイブキ一、香木三、銀杏十四、槐十七栢一、櫻五赤松二本である此等の木は何れも百年又は數百年を經たるものにして亭々たる幹枝雲を凌ぎ何んとなく神さび、人をして神嚴の感を起さしめ古くより神木として附近住民の

▽崇拜の對象 となり祭祀せられたるものなるが近來往々淺薄なる新智識の徒が愚民迷信の打破に藉口して之れを毀損し亦は伐截する者勘からざるも此等の巨樹は一度失ふ時は再び得る事難きを以て充分なる保護を加ふる必要あり今其主なる樹木をあぐれば景福宮横の東拓舍宅内の白松は樹齡約六百年

▽高さ八間あり 地上より五尺の高さに於て幹の周圍十七尺あり眞に稀有の大木なるが上に白松は松科に屬する東洋特有の樹木にして現在するものは極めて尠きに而も斯の如き老大木は殆ど他に求むべからず此の附近は二百餘年前彰義宮と稱へ李朝英祖惡行王の邸なりしと云へば此の白松は多分王の園内にありしものなるべし、遊南洞

▽李男爵の庭園 にある白松は樹齡約三百年を經、高さ四間幹周七尺五寸に及び李敬翼の祖今より二百餘年前淸國へ使したる折盆栽樹として攜へ歸りたるものを後に至り成育盛んなりし爲め庭内に移植したるものなりと傳へらる、縣仁洞經學院境内には巨樹老木頗る多く其の内京城に於て最も

▽巨大なる樹木 二本あり何れも銀杏として二樹共に約四百年を經過したるものにして高さ各十五間太さ地上より五尺の處にありて二十四尺あり傳ふる處に由れば此の二樹は李朝中宗の時代尹某と呼ぶ碩學者此の二樹を栽植し其の間に在りて道を說き德を敎へ常に此の樹を涵養し其の枝葉を茂らすべしと訓へたりと云ふ

▽經學院には 猶此の他に三四百年を經て高さ十三間幹の周圍二十數尺に及ぶ銀杏三本及び三百年乃至七百年を經て高さ八間より十三間に及び幹の周圍八尺より廿二尺に達する巨大なる欅四本及び他に約二百年を經たる松及び欅等あり鬱蒼として府中の巨樹を蒐めたる如き觀あり

金牌受領 本椿香油 髮を黑く長く つやを出しきらゝ しそして髮の ぬけるを防ぐ事妙

◎勇敢なる佛軍の飛行機
獨逸橫斷、一千二百五十哩を飛ぶ

コッペンハーゲン來電に曰く、佛軍の一飛行機は獨逸を橫ぎり露軍戰線より僅かに三哩を隔てたるカベンツ附近に於て敵の捕獲する所となれり俘虜となれる將校は曰く余等はナンシーより出發しロヴイに向ひ一千二百五十哩を飛行したりと(倫敦電報)

演藝案内

大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三
七月廿九日より特別大興行 ○活劇ボタリーの巻 ○諷刺劇 シモンの新聞記者 ○喜劇 [illegible] ○リヒンブルの戰線 ○米國トランスアトランチック會社傑作 ○世界的大冒險大活劇『ハート』の3(四編第四回目)[illegible]

御成座 壽町 電話二九一 革新派中村榮一行
一番目 明治大壽嬉七化お新 全三場 二番目 喜劇戀の英文 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 東京落語三遊亭遊三一行 [illegible] 毎夜七時より開演

黄金館 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上)二六三七(階下)
七月二十日より提供特別大寫眞 ○滑稽泣く兒に乳 ○新派喜劇靴の行衛 ○泰西軍事大活劇逆襲

京城西花壇の色
翠緑は滴りて清楽漂はるゝ夜の庭に點り出したる紅燈蘭麝。熱閙を離れて玆に開雅幽邃たる西花壇夜の色!!焼くが如き一日の暑熱を一杯の沐浴に洗ひ落して冷たきビールを召上るには夜の西花壇を御撰び致します。酔士雅客の御來遊を願ひ奉りて待奉る
御料理は衛生的にして輕手輕便 土用鰻は特別に大勉強仕り候 値段の安いとは主人の自慢 京城若草町西本願寺裏永樂町より入る 西花壇 電話二二六三番

無代進呈 非賣品 ハガキにて申込め秘密封送
梅毒自宅療法 説明圖入 全一冊
世の中の梅毒患者は十人が九人迄傳染の初期──は今春半睡の中に治療の時機を失し局部が腐り込むだり種痘が出たりして始めて驚く
▼二期、三期──になり病狀が劇變であると自家百年の悔根たる遺はずして腐爛に附し、病毒の吹出す所に猶治法なし病毒は益に骨肉を犯すに至る
國民衛生を本旨とする當研究所にては同情の餘り前記の書を同病者に限り無代送呈す、初期又は永年病狀の患者も本書を得て、眞に學理實驗の一致せる化學應用の安全、簡單、經濟の自宅療法の新恩惠に浴せよ。
■病の患者も其の病名を記し申込め必らず自療法を授くべし
東京市本所區向島小梅町 東京酵化學研究所出版部

治ッタリ! 多年困つた眼病も 大學目藥 點眼して立派に治ッタリ!

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

母モト儀て病氣の處養生相叶はず本日死去致候間此段生前辱知諸君に謹告候也
追而葬式の儀は明二十三日自宅出棺
七月二十二日
男子 林部榮
友人 内藤氏雄
久納淺太郎
小田原正佐

急告 滋養豊富なる 人蔘キャラメルを常に召上る人は暑中の健康保全を保護す 内地土產及中元贈答品には體裁優美高尙にして保存に耐ゆる最好適品也 外出の際は必ず人蔘キャラメルを御携帶あれ
▲本品は至る所の食料品店及菓子店にて販賣し居れり

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番
内科 呼吸器病專門 山田萬作
小兒科 胃腸病
花柳病 尾形周太郎
眼科
(入院隨時)

十二指腸蟲病 説明書は往復葉書に申込次第進呈 大邱府東城町 電話四六三番 水田藥院

天氣 曇但少雨 七月廿四日

[illegible]

天才的の聲 湊の千鳥

□朝鮮ホテルの音樂會□

□京城敎會婦人會主催の慈善音樂會は二十二日午後八時過ぎより朝鮮ホテルにて開催非常な盛會であつた

□會場には石塚長官、小宮次官、持地局長、野田東拓副總裁を始め有繋に婦人の人々が多くまた外國領事宣敎師等の夫人達から德壽宮女官の人々も見られた

□靑木兒氏の獨唱『湊の千鳥』は旅順閉塞隊のことを唄つたものだ相で猶ほ『ニナ』といふのも試みられた

□次に『かへり路』といふのは漁夫の唄を西洋的の曲に直したもので漁師のやうな聲でうたふといふ前觸れであつたがこれも面白く聽かれた

□次に英語の『樂園の夢』は並居る外國婦人の感嘆を買ひ番外『お玉杓子』『近眼のしくじり』『何だつけ』は輕妙な手振りで歌ひ出す滑稽味のものであつた

□また『二人兵士』はお終いの力強い壯快な聲が感嘆された

□露西亞副領事ヘフトラー氏曰く『二人兵士』は私もあちらの歌で知つてゐますが靑木さんの聲は實に天才的なよい聲です、今夜の外人は皆非常に悦むでゐます』

□猶ほ伴奏者の秋山きよ子夫人曰く『妾は昨晩始めてピアノの役を言ひ付かりましたので靑木先生の伴奏にはお恥かしう存じます

□先生の聲には石塚長官閣下なども感心して被居ましたが西洋の方なども其の神樣から戴いた生れ付きのよい聲を大事になさいと褒めて居られました

□同じ音樂學校出身の方でも先生のやうに型にはまらぬ自由な歌ひ方をなさる方は稀らしうございます

□それにお聲が練れて居るばかりでなく歌詞もすつかりよくこなされてあります……』と

□次に北古賀氏、菱田夫人、岡田夫人合奏の『松竹梅』『都の春』も美事なもので菱牧誠夫氏の筑前琵琶も盛んに喝采された

百日草

日の出の早起會

△二十一日からのお休み中日の出小學校では生徒の早起會を催ふします

△此の會は毎朝六時西敎會堂の鐘を合圖に家を出て涼しい運動場で深呼吸體操をいたします

△會員は三年生以上父兄の參加も差支ありませんが希望者は決して中途で退會せざることを誓はねばなりません

△また會員は睡眠不足にならぬやう毎夜早く就寢することの規定もあります

明治天皇御尊像

明治神宮記念會にては今回彫金家の泰斗海野美盛氏の手になる明治天皇陛下の御尊像を謹製し普く會員に頒布することゝなれり額面は十五圓、十圓、三圓五十錢の三種あり

木浦の海水浴

木浦府廳附近の浴場は今年は遠く慶尙南北道各地方の人士をも招致すべく努め居れるが浴場は脱衣所休憩所等も整然する處なく[illegible]

武德館土用稽古

黄金町二丁目武德館道場にては本月廿日より八月十一日まで劍道土用稽古を毎夜七時半より開催多數の出席者ありて盛會なり

フレンチ大佐著任

[illegible]て今回新たにフレンチ大佐著任されました、司令官はこれまで米國書記長官たりし人です

夏の休みは濟州島へござれ

□南海の孤島、日本式朝鮮□

◇此暑中休暇には濟州島の島廻りも面白からうと思ふ

◇濟州島は朝鮮の一番南にある島で氣候は先づ九州の島原あたりと同じく一年中至極温暖な地方である

◇昨今本土との交通は釜山及び木浦より朝郵汽船が二隻で毎月數回の航海をなしつゝあるが釜山からは約二百十五哩の距離である

◇島の大きさは東西二十里、南北九里、總面積百卅一方里にあたるが鳥渡雞卵を横たへた形態である

◇また島の中央に屹立せる海拔六千五百五十八尺の漢拏山はむかしから昼猶ほ暗き大森林でその植物は熱帶、温帶、寒帶の三帶に屬するもの多く山麓一帶の農民は古來牛馬の放牧に從ひ一人よく五十頭以上の家畜を有つて居る

◇併し島全體は累々落々たる熔岩石にて蔽はれて居るから耕地は自然畑地が多く水田は極めて僅少である

◇農作物には麥、粟、陸稻、豆類、甘藷の他に麻、稻花、煙草等もある

◇道路はまだ石ゴロ〳〵の小逕のみで歩行に甚だ困難であるが來年までには幅員五間の大道路が全島の海岸を一周する筈

◇島の內地人は戶數二百五十餘戶、人口約一千、鮮人は戶數約四百、人口凡そ十八萬一千餘人、また此處ほど內鮮人の融和せる土地は稀らしい

◇例へば朝鮮人の子供は多く日本漁夫の養子となり共に海洋の健兒となる

◇島の婦人はまた朝鮮の他地方に見る如く室內に屛居せず自由に外で働いてゐる

◇むかしからの史的關係もあらうが濟州島は全く日本式の朝鮮である(大原水産組合長談)

番茶のあとこ

△なんだつけ?! △背戶の藪からのそ〳〵と、殿樣蛙が罷り出て△兩手をついたがや、考へて、わたしの用事はなんだつけ△太郎使ひに出て行つて「みちくさ喰つて暇とれて△行つたは行つたがや、考へて、わたしの用事はなんだつけ?!(靑木兒氏獨唱の歌)

たいどころ その日〳〵

◎くず饅頭 上くず粉わんに一杯と上砂糖同じく一杯と水同樣に三杯をよくまぜかして目の細かき毛ぶるいにて鍋の中へこして後同樣に一杯取りわけて置きゐる火にかけて十分に煉り火よりおろして取り置きたるのを少しづゝ手に水をつけてとりあんを包みて恰好としせいろに布巾を敷てならべ強火ですき通るまでむすあんは普通のあんにてよろし

會いろ〳〵

□慈善音樂會 京城敎會婦人會主催にて廿四日月曜日の午後八時より京城ホテルにて開催入場料は[illegible]

□元町小學校同窓會(竜山) 廿五日午前九時より同校[illegible]

御社とお寺と敎會

○妙心寺(長沙洞) [illegible]

○曹洞宗別院(若草町) 廿四日午後八時より[illegible]

○東本願寺(南山) 廿三日午後八時半より[illegible]

○西本願寺(若草町) 廿四日午後九時より[illegible]

婦人界消息

◉私立平壤幼稚園 私立平壤幼稚園は一般他學校が冬季休暇に入りたるも休暇せず毎日約一時間保姆授業をなし居れり在籍園兒七十名出席五十名保姆二名なりと云ふ

△矢野桂齋(遞信局矢野通信課長令息) 二十一日午後十一時御病氣にて死去、葬儀は二十三日午後二時[illegible]にて執行

△三島しづ子(朝鮮銀行理事夫人) 久しく內地へ御滞在中のところ十九日歸京せられました

宮本武藏

第百八回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

細川の役人は、其金で米麥其外種々の物を買入れまして、之を船へ積んで豐前の小倉へ船廻しをして、御領分の百姓へ惠まれました、されば細川領の百姓一同涙を流し、誠に有難き殿樣の御恩、此んな結構な御領主樣はないといつて、日本全國に細川家の御仁心が知れ渡り、一人として貧めない者はない、併しさういふ次第でありますから貧乏細川といふ評判も又世間に高うございます、甚だしいのはお辻へ物を賣きに來る奴が ○『一寸伺ひます △『何んだ ○『此ういふ者が御近所にございませんか △『何所と聞いて參つた ○『貧乏細川の迹い傍だといふ事で △『默れ、御當家樣の御辻へ來て貧乏細川とは何んだ』と叱られて肝を潰して逃て行く、其の年の暮に越中守樣が御物見で御酒を召上つて居ると、向ふの方から馬士が一人濁酒か何か飲ひ醉つて、宜い心持さうに松を馬の脊に積山載けまして、手綱を肩に掛け、ヒョロ〳〵蹣跚ながら大きな聲を上げまして門松や門松、飾松や飾松やと喚鳴りながら參りましたのを殿樣が御覽遊ばし 殿『コレ〳〵那れへ何かよんで參つた者がある、何んぢや ○『御意にございます、那れは來春門へ立てまする松を商ひまする者、門松飾松と申す物を賣りに參りました者で 殿『ハヽア其は誠に目出度い事だ、求め遣はすやう ○『委細承知仕りました』直ぐに表へ立出てまして見るとヒョコ〳〵蹣跚ながらやつて來た ○『コレ〳〵其へ參つた門松を商う男』三『ハイ ○『買つて遣はすから此方へ參れ』三『ハア、さうかね何の位ゐ買つしやる ○『貴樣が持つて居るだけソツクリ買取つて遣はす』三『皆な買つて呉れる、アヽ有難ね一時に買つて呉れるなら、俺の方も安く負けて置くでがすから ○『何程だ 三『一貫三百だが些つとは負けても宜いが値切るなら値切らつしやい ○『白痴な事を申すな、値切るなどゝいふ左樣な事は決して致さぬ、言ひ價で買つて遣はすから此方へ參るやうに 三『何處だね ○『此處だ 三『ア、貧乏細川でねエか、其は大變だ、勘辨して呉れさつせい』と馬の口を取つて行かうとするから ○『コレ〳〵何を白痴けた事を申す、無禮者奴、代を遣はすに依て早々之へ馬を引いて參れ 三『何に錢を呉れる、アハヽヽ貧乏細川だが、無藝が何か取つたと見へる、さうかへ、マア錢呉れるなら持て行くべエか、俺が松立つて見さつせね、其れは來年は二百萬石になつて忽ち貧乏細川が福細川になる、目出度エ松だに依つて立てさつしやるが宜い、大きな聲で喚鳴るのを殿樣がお聞きになり、殊の外のお喜びでございましたが 殿『コレ〳〵下郎に酒を取らせるやう ○『委細承知致しました……コレ〳〵 三『お酒を下さるから一杯頂いて參れ 三『ア、有難エ、俺うかね、折角の事だから頂くべエ、皆んなマア買つて呉れたので俺れマア早く歸れるから大きに有難エ ○『此處へ參るやう』と屋敷へ呼込になつて御酒を下されました、結構な御酒肴 ○『ア、有難エ俺ア此んな澁だ酒は餘り飲みつけねエ、矢張り濁酒の方が宜いでがす ○『イヤ御當家には左樣なものはないから、先づ遠慮なく頂いて參れ 三『ハア爾うでがすかな、むやアマア頂くべエ……何にも構はつしやらねエ、ねが宜い俺が勝手自由に頂くでがすから』と頻りにガブリ〳〵やつて居ると、前に下地のある所へもつて來るさ、サア何うも大變に醉ぱらつて終つた 三『エ、イツ、ア、宜い心持になつた、オイ酒を持つて來な、斯んな肴をモットさん〳〵持つて來て呉んな、思鶴〳〵する事はねエ、俺れの那の松を立て見ねエ、來年は細川になつて三百萬石の剛い身代になる、サアドシ〳〵酒を持つて來い、俺れなんざア撰りながら嘘を吐いた事はねエ、八王寺の三太郎正直の三太郎だ、俺が言つた事はマア只の一度も間違つた事はねへ、來年は剛い身代になるからドシ〳〵酒を持つて來い』大きな聲で太平樂を列べ立てゝるから細川の家來方はクス〳〵笑つて居る裡で松の代を下され、十二分の馳走になつて三太郎は馬を引いて歸りました

◉『經濟之日本』(七月號) 本誌は學理と實際とを調和せる商人向の雜誌にして株式、銀行、會社、商店員の最好伴侶なるが其七月號に揭載せる重要項目[illegible]其他一般財界の指針たるべく[illegible]東京市神田區富山町八番地『經濟之日本』社發行

◉東京三金靴店の特賣 今回東京芝區宇田川町三金高等靴店にては戰亂の影響にて各種材料の値上實行にも不拘同店は從來の價格を持合せさ薄利多賣主義にて値上せず爲に各地より多數の注文を受け日夜多忙を極めつゝあり同店は希望者はハガキにて申込めば華見本附目錄を進呈する由

七月二十五日九星　舊六月廿六日癸亥　本命四綠　調定先勝

[illegible]

パール

世界的煉香油(萬人向)

髪の培養にパール煉香油をおつかひになれば黒くつやを増し房々と軟かに其芳香は又格別です

本舗東京 平尾銑也商店
關西代理店大阪 平尾賛平支店

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社

京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

祝日露協約

日鮮向雜貨輸入貿易商

河野本店

仁川本町四丁目 電話三二八・三六八番 電信略號(カ) 振替京城一二二番

くすりは山岸

諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械

總て叮嚀迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候

京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部

祝日露協約

仁川海岸町二丁目

大阪商船株式會社仁川支店 電話一二番 二一〇番 五五〇番

最上醬油

京城本町三丁目

田中支店釀造 電話七六四番

祝日露協約

仁川港京町

鬼頭兼治郎商店 電話六六番 振替京城六八番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店

京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

祝日露協約

仁川松坂町二丁目

京城電氣會社仁川支店 電話三二四番

……する處を聞くに告訴人中田巳龍岡縣……許可を受けたる漁撈區域なれば一果嵐の漁場免許區域にあらざる事判明したるを以て斯くは告訴に及びし……貴林面の地先約四里の處に繁殖せる……貝の鉛採取を爲すべからず唯今直ちに引揚ぐべし……採取の目的にて田中改三郎外鮮……何時採取する時は次第なりと

……兩道上里三統六戶……和興里高峯山で各松の木二本を盗伐し七月十九日德川憲兵分隊に於て各……死せり

●連絡船七陸客 廿二日朝釜……

廿二日夜釜山入港壹岐丸一二等客……

……南北道慶尙南北道の沿岸及び內陸

南浦紹介

鎭南浦は大同江の下流平安南道の西南端に在り明治廿七八年戰役以前は僅たる一介の漁村なりしが日清日露の兩戰役に依りて廣く其眞價を認められ明治三十年開港地となり爾來長足の進歩を遂げ今日に於ては我内地人の居住する者六千人鮮人の居住者一萬六千他に四百人の支那人を有す西朝鮮に於ける一大良港たるのみならず又貿易港として其右に出づるものなし更に一歩を進めて西鮮の主なる商工地なりと云ふことを得べし西朝鮮を旅行するの人平壤より南下して足を南浦に入れんか市區整然風光明媚にして陸に江に自然繁榮の徴なきして天に沖するを見るべし蓋し其發展盛況の狀又他に多く見る能はざるの光景なりとす而して南浦の僅々二十年にして此發展と盛況を見るに至りし者即ち經濟上地の利を得たる所以なりと雖も其實際に於ては南浦官民有志の美點たる和衷共同の結果にして換言すれば地の利人の和兩々相俟て此成果を結ばしめたるに外ならず今や南浦は數年前の計畫たりし諸問題を完成し產業交通慈善敎育凡ての機關具有し陸に海に活動の餘裕綽々たるの盛あり將來西朝鮮に於ける產業の發達は更に南浦の發展を促進すべく況んや平元鐵道の完成安滿道路の開通を見るに至らば又一層の盛大を見るに至るべきを信ず我社此機會に於て南浦紹介號を發刊し廣く南浦の商工業家を紹介し聊か以て南浦の發展を祝するものなり

●南浦の貿易 鎭南浦

税關に於ける本年上半期に於ける關税收入は輸移出百二十一萬五千三百八十四圓輸移入百十一萬七千九百五十五圓にして輸移出入二百三十三萬三千三百三十九圓にして之を前年の同期に比すれば一百五十四萬七百三十一圓を増加し更に大正三年の同期に比すれば一百九十五萬四千八百四十一圓を增加したりと而して之が劇增の理由は久原製煉所の含金銀粗銅の一百四十萬二千七百十八圓遂安金鑛の金及び砂鑛六十四萬五千三百八十二圓の移出ありしに因ると

●南浦の市場 鎭南浦

府内は内地人朝鮮人支那人の商家櫛比し諸種の商業を營み殊に水產市場青物市場の設ありて一定の建物内に於て取引し居れるが在來の市場として道路の兩側に露店を張る者數箇所あり毎月六日開市し主として米穀其他の農產物布帛日用雜貨等を販賣せり大正四年十二月末日の統計に依れば市場取引高十二萬七千二百六五十圓なりと

鎭南浦
相馬自轉車舖

鎭南浦旭町
御料理 玉屋
電話一三八番

鎭南浦龍井町
御料理 朝日館
電話一三三番

鎭南浦龍井町
御料理 大愛
電話一一三番

鎭南浦三和町
和洋雜貨商 小西仙吉
電話一〇五番

ペンキ塗請負業
齋藤ペンキ屋
鎭南浦旭町

鎭南浦
信一組合
電話三二一番

鎭南浦三和町
有田自轉車部

鎭南浦
大井自轉車店

鎭南浦龍井町
製靴販賣 岡部靴店

合資會社 南浦材木商會
鎭南浦明峡町
電話一五七番

鎭南浦
大倉組
牧野昇
電話三一一番

鎭南浦三和町
池田材木店
電話三三七番

鎭南浦
迎齒術所

大阪商船會社
鎭南浦支店
長電話五四番

朝鮮銀行
鎭南浦出張所
電話一一番

鎭南浦
三和高麗燒 富田商會
長電話一四〇番

營業科目
海陸運送　船舶機械　製造修繕　石炭煉炭　セメント　金物船具　材木靑竹　各種販賣

鎭南浦三和町
合資會社 中村組
電話長一〇六番 一〇七番
同 商業部 電話一一二番
同 鎭南浦億兩機 鐵工部
同 平壤支店 平壤壽町 長電話五〇二番
同 寺洞出張所 寺洞
同 兼二浦出張所 兼二浦

鎭南浦（いろは順）
濱田吳服店 電話三八番
巴商會 電話一二四番
岡部吳服店 電話一〇四番
谷川吳服店 電話三一番
塚本吳服店 電話二〇八番
延田洋物店 電話一〇〇番
松岡洋品店 電話二三七番

鎭南浦
齋藤精米所
長電話一四五番

官許 飲料氷
弊社販賣の氷は嚴寒の期節大同江の上流に於て採取せしものにして厚さ一尺三寸以上容易に解氷する憂なく地方送り品には最適當なりとす目下在庫品豐富多少に拘らず御用命を乞ふ尚ほ貨車一臺御注文の方には特別御相談に應ず可く候
平壤櫻町三番地
三榮社氷販賣所
電話七一二番 電略(三二)

久保組明峡町本店 電話四二番
久保組朝日館前支店 電話二六〇番
久保組柳町支店 電話二四三番
久保組鎭南浦驛構内支店

朝鮮鎭南浦三和町
雜貨商 鬼頭支店
電話一四四番 電略(キ)
振替京城二一六番

鎭南浦
醬油味噌 藤本釀造所
電話一一八番

鎭南浦
久原製鍊所
長電話三四番
電話四三番

鎭南浦
三和勞働組合
組合長 姜俊植
電話一二八番

合資會社 鎭南浦汽船會社
電話二二五番
○鎭南浦甑寧線 月十五回以上
○鎭南浦津江浦線 月十五回以上
○鎭南浦今卜線 毎日二回以上
○鎭南浦新換浦線 毎日一回

鎭南浦
柳町組合

九十度以上の猛烈な炎熱に下界の……て居る七月の十五日から開かれた富士山頂郵便局に 利を圖つて開かれた富士山郵便局には御殿場局から高村正太郎(二十)と呼ぶお若い局員が登つて來て八月三十一

吹飛ばされぬ樣丈夫向に建てられたもので山小屋同樣のお粗末なもの日中の平均温度が華氏の四十五度内外 全然で嘘とより思はれぬ晝間の四十五六度はまだ愚か、夜になるとズッと降下して三十三四度になる

吹き捲げる風の冷たさには玉の汗も出づればこそ、一遍に慄ひ上つて了ふ、高村君の話に依ると雨の降る時……

▲別世界へ投り出された……では見られない、富士の頂上には……便局の外官幣大社淺間神社の奥宮があつて交替する然し局の高村君は登山期中人間放れのした山上生活を試みる……様な氣がする御殿場口の八合目と六合目には假郵便局があつて電報電話をある此社には數名の神官と使丁が居るので……居るもの、山が荒れる

京城日報

廿四日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 京城日報社　京城太平通一丁目　印刷人 小川三之介

歐洲戰と北米合衆國（二）
日米將來の經濟的關係
經濟研究會に於ける　勝田鮮銀總裁講演

一、戰争の影響（承前）

▽戰争と投資　元來北米合衆國は從來は非常な債務國であつて、歐羅巴各國が合衆國に投資して居るは或は八十億と云ひ、或は百億と云ひ、或は百二十億と云ひ、判然した額はわからぬけれども、少なくとも八十億位は投資されて居ると思はれる。戰争が始まつて以來今日までに或は十億、或は十五億と云ふものは之を買戻して居る。其れ丈け合衆國には經濟上の力が今度の戰争の結果偶然出來たのである。又戰争が始まつて以來、合衆國が外債に應募した額が十九億圓許りある。即ち從來合衆國は債務國で、外債應募の如きは甚だ鮮かつた國柄であつたのに、戰争の結果は十九億圓と云ふ多額の外債に應募して居る。是等の數字を以て見ても合衆國がどれ程好い景況にあるかは評說を要しないと思ふ。これ以上詳說するとせば同國商工業の狀態とか、聯合準備制度の改正即ち中央銀行と類似したる制度を採つて居るが、其改正の効果等に言及しなければならぬのであるが、今の數字に依ても如何に合衆國が好影響を受けて居るかは諸君の頭に浮ぶであらうと思ふ。

▽繁榮と處分策　現に合衆國は斯樣な狀態にあるが、一番問題として居るのは如何なる事であるかと云へば、其の儲かつて來た金を如何に處分するかと云ふ問題である。もう一つは戰争の結果、合衆國に於ける商工業其他の發展は實に偉大なもので、ある。そこで之を戰後に於て如何に調節すべきかの問題である。此點に於ては或は樂觀說もあり、或は悲觀說もある。例へば合衆國は一方に於て金が有り剩ると云ふので軍備擴張を爲すが如きは、反つて自分の及ぶで自分の首を斬るに至る憂があると說く人もある。又一方に於ては今日商工業は非常なる發展を遂げて居るが、戰後歐洲各國が其の力を恢復して來たならば、亞米利加は其の發展した商工業の處分を如何にするか、若し……

二、消極政策

そこで將來の發展に付て、此の發展を消極的に維持し悲況に陥らざるやうな方法として、如何なることをして居るかを一二御話して置く必要がある。其第一は之を消極的方法とでも言はうか、即ち戰後内國に於ける經濟上の恐慌を防ぐとか或は外部の壓迫を防ぐとか或は資本の缺乏を防ぐことである。之は私から見れば消極的方法であるが、其方法として一二例を舉げると、第一は彼のやかましい關税政策の問題である。

▽關税策問題　此問題は現今合衆國に於て重大問題として盛んに論議されて居る。何故左樣にやかましいかと云へば、合衆國では只今申した通り商工業の發展を圖つて、種々な會社も出來、新規の物品も出來て居るが、戰後獨逸を初めとして其他の強國が合衆國に向つて安い品物を持つて來て對込むことになると、折角發展した自國の商工業の基礎が危うくなるであらうから、保護政策を執つて之を禦がねばならぬ。即ち消極的政策として此の議論がやかましい。未だ之は解決して居らぬけれども、之は或る政治家や學者等が熱心に主張する所である。さうして此の事が今回の如き大統領の改選がある時に際しては、一番大問題になつて居るのは御承知の通りである。而して之を實行するに就ては色々な主張がある。或人は、一つの委員會を組織して大統領は常任委員を任命し、之に充分なる力と便宜とを與へて根本的に問題を研究しなければならないと言ふて居る。併し之は前申す通り充分なる効果は顯はれて居ないが、上下に於て最もやかましい問題となつて居る。既に民間の者から大統領に迫り、今日の經濟事情は實に斯樣……あるが、大統領は之に對して保護政策を……あなたの御意見は如何であるかなど、懇な問を出して居るが、之に對する大統領の答の如きは甚だ面白い。

城壁文學
小田省吾

（第七）肅宗期及び其の以後の都城修築
（承前）北漢山城

三、肅宗期都城修築並に城壁文字　肅宗期の都城修築は一般に丁夫を徴發し、世宗期の修築には丁夫を使役し、雜色軍を使役したことは既に之を述べたが、肅宗期の方法は實録に依ると大に兩者と趣を異にして居る。其主要なる點は左の如くである

（イ）此の時は別に修築都監を置かず、五軍門に命じて事に當らしめた

（ロ）此の時に働いたものは五軍門の將校卒であつて、全く軍人の手に成つた

（ハ）五軍門に屬する丁夫を使役したのであるから其の區域は京畿、黄海、江原並に三南地方で全國に及ばなかつた。

抑も五軍門とは何かといふに、文祿慶長役後、……の時に……其の後……の五軍營が漢陽に置かれてあつた。左の五軍營は

訓錬都監　兵　卒ちの親兵、即ち近衛兵

禁衛營　京畿、黄海、江原、忠清、慶尚、全羅各道の軍上番して守備に任ず。

御營廳　同上

摠戎廳　京畿西部の防備を掌る、北漢山の守備に任ず。

守禦廳　京畿東部の防備に任ず、南漢山の守備に當り、

今期の工役には右五軍營の將校士卒も出でゝ働いたのである。即ち實録に「五軍門各將校を遣し石を盧原、舟巖の地に浮ぶ」とあるは、將校が指揮して城壁用石材を切り出したことで、浮石とは採石の義である。又盧原、舟巖は何れも今期の採石場で、東小門外約三里の處にある。又「農民の軍門に屬する者弁走して農を廢し、運石の役死傷頗る多く、人皆之を怨む」とあつて此の石材を運搬するのが……を指揮したものと見えて、……石に將某なる文字が刻されてある。光熙門と電車道との中間城壁には、一段南三牌匠石將……全萬龍……とあるは最も明白な例である（牌は組の義）。

序に一言して置くが、肅宗三十七年に北漢山城を築いて都城の修築と相待つて築造した北漢山城も矢張軍門に命じてなさしめたのであつた。此方は訓錬都監、禁衛營、御營廳の三軍が之に從事した。其の城の周七千六百二十歩、即ち里程に換算して二十一里六十歩と記されてある。詳しい事は北漢誌に載せてあるから此處には述べぬ。又北漢山の下造紙里の洞口を塞いで第一の防備線とした彼の西城（前節に述べた）は肅宗四十一年に摠戎廳の築いたもので、其の事は同城壁漢北門（洗劍亭の下）に刻されてある文字に依つて知られる。

肅宗期の城壁を調べて見ると、前節に記した通り修築の年次が刻されてあるばかりでなく、軍營の名稱並に其の役に與かつた人々の官職姓名をも記してある。由て何れの箇所は何年に何營のやつた所であるといふことが明かになるばかりでなく、其の時の工事のやり方も察知することが出來るので、今最も標本的なものゝ二三を例示して見よう。

第一例（訓練都監、肅宗三十七年）

訓局、策應兼督役將十人、使韓弼榮、一牌將折衝成世任、二牌將折衝金守善、三牌將司果劉濟漢、石手都邊首吳有善、一牌邊首梁山吳、二牌邊首黃承善、三牌邊首金廷立、康熙四十五年四月日改築

是は電車通を隔てゝ東大門の北側面と相對して居る城壁の道に面する所に刻されてあるから誰にでも知れる。訓局とは訓錬都監の略稱で、策應、使は官名、折衝は武官の稱號、司果は武職である、一牌將、二牌將とは第一組の將、第二組の將の義であるから、此時の工事は人員を三組に別ち、折衝又は司果の資格の軍人が各組を指揮してやつたことが解る。其の上に監督の將校十人と普通の監督官（使）一人とが有つたのである。石手以下は各組に屬した石工であつて、都邊首とは總頭領、邊首と……

貧の戀
結婚承知　二十二返出て

[illegible]

京日詩壇

晩來策杖採奇勝。漁浦行吟步屧鬆。柳風輕飛蝶戲。桂花浪穩細鱗鳴。影曳疎疎楊。曲曲碧傳隱隱鍾。回掃首望。斤汀菴偏最高峰。

評曰（○江亭晴望。）高景雅致。清妍如畫　西田白陰

流水難留根。出楊見石亭外夕陽。不知征馬向何處。芳答山中樂可採。

評曰　後半殊古雅

日報歌壇
大石香城

すこやかにありねといひし弟のうなだれにつつものいひ得ざり

十一の弟がなしもふたみさせさかるべうなる兒にあまゆる

わが慈び消ねよとばかり離けくさ雨の中し汽車はさ走る

さつき雨心ぬれつつ旅いゆくわが悲しみに驟いく路へし

果物店にふと夏めける香をかぎし旅の夕の町のさびしも

旅の町青き灯の流れつつうられひある子にしもぬびよりする

よるべなき旅の心は旅籠屋の簀たゝみにうちころびする

日報俳壇
椎子郎選

夏雜

まひくや軒の日落水溜り　空螺

旅中吟

專念に大工圖を引く茂かな　同

盂蘭盆や弄蠶急なる大工小屋　同

夏服に更ねて寒がる車上哉　同

客届せ空船に釣るや雲の峰　草生子

山荘の樹に風湧くや雲の峰　田打夫

墓山の上飛ぶ鷲や雲の峰　容堂

地震過ぎし後の不安や雲の峰　青丘

雲の峰石昇ぎ上る商足場　山民

屏越しに聞く素諾や蚊帳の月　友春

京日案内

（普通）道見　生後六ヶ月健全血統正しく發育よき男子の御方に讓りたし　本町二丁目　電一六七八

京城府西大門 ……　522

求人　……記者希望……　521

養護婦 ……京城……　519

産婆看護婦……　516

生後二日の女子血統正しく御中達の方へ……　512

開店　古本買受　京城本町三丁目　東京堂書店　681

分礦物各種　京城太平通二ノ二五　拆坂元分析所　523

恩給立替　月利壹分　電話一三四四　515

大阪湊屋京城代理店　京城南山町三丁目日本願寺下　魔法瓶中瓶取替　696

ゴム引マント防水　其他色々　京城本町一丁目　高木旅行用具店

恩給年金短期立替　月利壹歩武厘五毛　無保險迅速融通　京城武橋町二三番地　電話二三八三番　京城日報社　北方一丁　國江商會　619

株　有利にして確實なる公債株　現物問屋　624

ゴム風船ゴムホースゴムキルトデサツク外諸種ゴム製品製造卸　京城本町二丁目　電話九三九　振替二二六〇　田中友吉商店

恩給年金立替　月利壹歩武厘五毛三年迄無保險特別高價に買入す　京城太平通大漢門前　太陽商會　674

受驗講義録　七冊完結全一部十二錢送料共金の前金　朝鮮雜誌社　京城旭町二丁目　朝鮮斯文學會　520

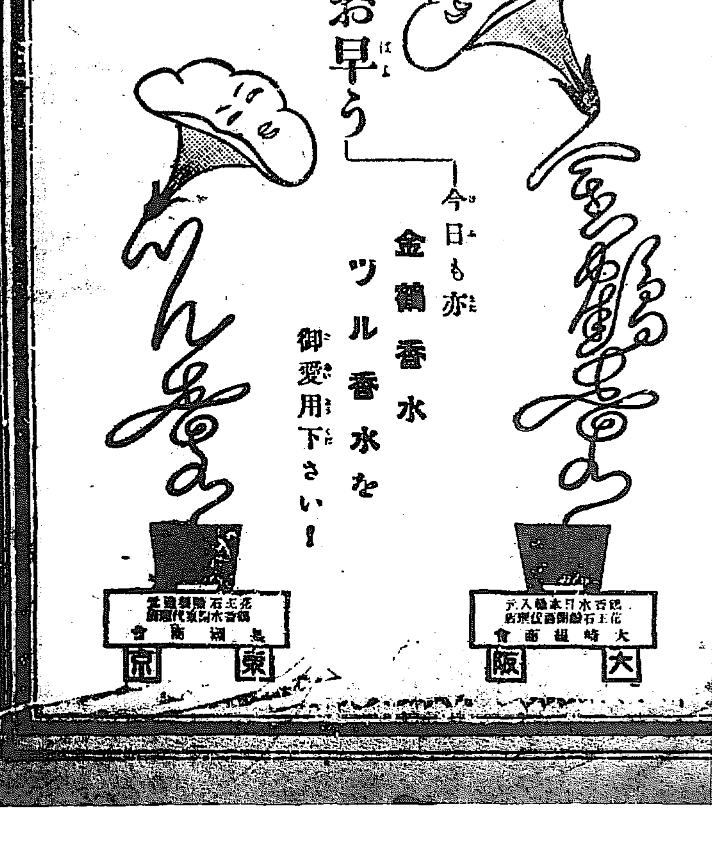
（御成町）京城南大門外　山口屋　694

京城春日町　京城大門通　旅行自働車　一日八時出發　貸切　廣橋自働車　電話二一九番　主務　金正淵　648

新刊書御案内

書名	著者	定價
英文みだれ草	片山寬	一、〇〇
小さき泉	武者小路實篤	八五
日本山水論	小島鳥水	一、〇〇
蘭燈情話	近松秋江	八五
ポケット俳諧季寄	今井柏浦	四〇
ポケット書翰便覽	松涛堂	四〇
近代文藝叢書 チラシの捺らい方	高木正巳	八〇
世間に求むる理想的店員	山本邦之助	八〇
最近十九年間官立諸學校入學試驗 漢文問題解釋	遠山	八〇
ローマ字文 自在	日下部重太郎	五五
草字彙	物集高量	特二、八〇
趣味の日本史 上卷	新保磐次	二、五〇
校定源氏物語詳解	池邊、鎌田	三、五〇
國民道德要領	吉田、藤木	一、五〇
高杉晉作	横山健堂	一、三〇

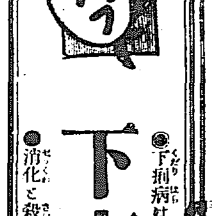
大阪屋號書店　京城本町　電話一〇八六　振替三　京城一五七



下痢止

旅行にヘルプ

▲旅行にはヘルプを携帶▲船中下痢が起つても▲汽車中腹が痛んでも▲旅宿で食傷した時も▲途中で醫者が無くても▲安心して手當が出來る



殺菌性

下痢にヘルプ

●下痢病は多く、不消化と黴菌作用より起る、故に下痢止藥は消化と殺菌力の絶大なるヘルプを用ゆるが最も安全也

風味芳醇泡立細かき

サクラビール

體裁よき化粧箱入及商品券調進致候

見よ最善最良の子供讀物　少年少女新裝

八月號　少年　少女

東京時事新報社發行　二大雜誌　定價各十六錢（郵税一錢半）　全國各書店

◎園侯擁立運動經過
原總裁伊東清浦兩子を訪問す

政友會は既報の如く幹部を擧げて西園寺侯擁立運動に奔走しつゝあるが原總裁は二三日前より單獨腰越東京間を密行し關係諸方面に活動し又二十一日夜は俄に築地の待合花屋に伊東巳代治、清浦圭吾兩子爵並に某有力者を招待し懇議を交へたるが其の結果時局に對する大體の意見纏りたるを以て二十三日午前芝三緣亭に於て正式に領袖會議を開き總裁を始め各領袖より之れが經過を報告し更に第二の運動方法を講ずることに決定せり尚當日出席せしは原總裁山本達雄岡崎邦輔床次竹次郎江藤幹事長元田、大岡、小川の諸氏なりと(東京特電)

◎隈侯掛冠は時機に非ず
大隈首相山縣公訪問の用件

二十二日大隈首相の山縣公訪問に關し昵近者の語るところに依れば當日主客は人を斥け約二時間に亘りて會議したるが其內容は固より直接知るを得ざるも訪問の主なる目的は山公の病氣見舞にあるは勿論なるも此の機會に於て本春來重積しつゝある用件を解決し且つ日露協約對支外交問題等刻下の政局に就き親しく說明を試み特に近時問題となり居る政變の風說に就て其の眞相を辯明したるならんと察せらる而して此の公、侯の會見が政局上何等かの影響を及ぼし政變を來すならんと想像するものあらんも井は皮相の見に過ぎ要するに首相は日露協約成立し未だ時局の收拾緒らざるに直ちに掛冠するが如き無責任のことあるべしとも思はれず殊に後繼者に何人を推すべきかは首相の大に考慮を要せざるべからざることにて世說の如く寺內伯が果して內閣を引受くるの意あるや否や又加藤子としても今日直ちに內閣を引受くるは恐らく迷惑とするところなるべく是等の事情を想へば首相假令掛冠の意あるも其の進退は自ら機會の熟するを待たざるを得ざるべしと(東京特電)

◎米國務省對英抗議

華盛頓來電に曰く米國々務省は英國大使館に對し非公式に英國の對敵國通商禁止命令を米國の會社、商店に適用したる理由の說明を求めたり、國務省が斯かる手段に出でたるは英國政府が米國內の會社個人百名の名簿を發表して英國人は是等の者と取引すべからざることを警告したるが爲めなり(倫敦電報)

◎英國證券引受決定
證券の利廻六分四厘弱に相當

菅原大藏次官の談に依れば二十三日我政府は國庫に屬する在米正貨を以て英國大藏證券一千萬磅(約一億圓)を引受くることに決し英國政府との間に交渉纏りたるが該證券は英國政府が特に其目的の爲めに發行するものにして總額一千萬磅期限一個年割引步合六分一磅に付き四弗七十六仙半にて本月二十五日、八月四日及び十四日の三回に分割して拂込む筈なり而して之れが償還は米國たると英國たるとを問はざるも米國拂ひの場合は四弗七十六仙半の割合にて英國拂ひの場合は一磅の純分を米國の四弗七十六仙半の有する純分と同一に計算して支拂ふべきを以て磅對弗の對比には何等の損徒なく而して在米我が正貨の利廻りは平均二分に過ぎざりしも今回の英國大藏證券の利廻りは六分四厘弱に相當するを以て我政府は該證券を引受けたる爲め一箇年に約四百四十萬圓を利得することゝなる譯なり(東京特電)

◎首相の兩元老訪問

國府津別邸に避暑中の大隈首相は二十二日午前自動車を驅りて鎌倉別邸に滯在中の松方侯を訪問し會談一時間後更に山縣公を小田原古稀庵に訪ひ約二時間懇談を重ねたり(東京特電)

◎露軍進擊

[illegible](露都電報)

◎釜山の石油界

[illegible]しく減少し昨年に比し少なくも三四割を減じたるが爲め去る一月より六月迄の需用額は僅かに七千箱限にし[illegible]迄もなく石油騰貴の結果にして昨年迄は一箱三圓七八十錢位なりしに今春來著しく價格騰貴し一時は一箱[illegible]つゝあるが是以上の値下げは容易ならざるものゝ如く無論歐洲戰亂にて歇まば當然其の値下げを見るに至[illegible]來五分洋燈を用ゐ居りし者も三分洋燈を使用し又鮮人の如きは容易に[illegible]は十燭光八十錢なるに釜山[illegible]と云ふ高價を徵しつゝ[illegible]て石數の[illegible]如し(釜山支局)

◎小口保險と豫算

內地の小口保險は來る十月より實施する事となり居れるが內閣の方針は殖民地にも可成速に之れを實施せしめんと云ふにある如く又遞信局の諸調査は夙に終了し居るに付恐らく

▲大正六年度後半 乃ち明年十月より開始せらるゝ事となるべし但し總督府としては未だ何等決定する所なき爲め明年遞信局豫算には計上し居らず然れども施行する事に定まらんか初年度の歲出豫算案は事務室の增築俸給並に消耗品等の極めて輕微なるものにて保險料拂渡しの如きは頗る僅少ならんと思はるゝに付其の編成は決して手間取らず必要に應じ追加豫算として直に提出し得べし尤も朝鮮に於ける小口保險は總督の制令にて實施するを得べき協贊を要するは總督府特別會計の小口保險特別會計豫算のみなり尚ほ朝鮮小口保險は內地に於て之れを必要とする理由以外一二

▲特殊の事情 あり乃ち鮮人に備荒貯蓄思想をより以上に養成せしむる事なり乃ち郵便貯金の如きは任鮮各行政機關にし之れを鮮人に勸誘する爲め逐年相當の發達を見つゝあるも尙ほ人員の六十七萬人に對し金額は百七十萬圓に過ぎず乃ち一人平均預入高三圓弱なり而して此の六十七萬人中預入及び拂戾し等を請求し兒に角通帳記載數字の動つゝあるは決して多からず多數は熱心なる外部の勸誘に餘儀なくされ兩三回預入をなしたるのみ其儘拋棄して顧みざるもの比々然り之れ郵便貯金は遲續的に郵便局より督促の手段を執らざる爲めなり此點に於て小口保險は每月郵便配達人が巡回加入者宅に赴き其の

▲掛金を請求し 又掛金を拂込まざれば既に拂込みたる掛金の全部若くば一部を失ふ事となり居る爲め彼等の備荒準備を整ふるに於て頗る良好なるべく郵便貯金と相俟つて勤儉貯蓄の思想を鮮人の間に盛んならしむるを得べき乎(某當局者談)

◎金利低落趨勢
個人金貸業者の窮窘

朝鮮の金融界は屢報の如く時局の影響を受けて益々緩漫の勢ひを持續し中央及び地方の各銀行は何れも多額の遊金を抱き居れるが更に預金は漸增の有樣にて各金融業者共其の放資方法に困じつゝあり茲に於て定期及び當座預金利子の引下說さへ其の一角に唱へられつゝあるが事情斯の如きものある爲銀行の貸附金利は春來下向き一方にて從來預金利子と貸附利子の間の懸差甚しきに過ぐとの評ありしも最近に至り稍々常調に近き迄狹ばまれ居れり之れ取引者が銀行の手許を附け込み叩きを入るゝ爲めと見得べく從つて一方民間個人の小金融業者も其の貸附利子を低落せしむるの餘儀なきに至り彼等の窮窘著しきものあり然も確實なる借主並に擔保等に對しては各銀行が此際及ぶ限り手數を簡易にし且便利に迅速に低利に貸出す爲め彼等は其の得意先を失ふ者相踵ぎ居る形勢にて局部々々は兎に角大體に於て從來の如く日步八錢又は十錢てふ暴利の貸借は漸く其の數を減ずる傾向ありと

◎朝鮮濁酒稅率

不日發表、九月一日より實施の筈なる酒稅令に就きては再三記載の通りなるが其の內、朝鮮在來酒の濁酒に對する稅率を聞くに從來は五石を限度として之れに一圓を課し五石を以て每に其の稅率を倍加し居たるを以て假りに一石を造るも一圓を徵收され六石を造るも二圓を徵さるゝ狀況なりしが今回は之れを改正して一石七十錢を賦し以上石數を增加する每に其の稅率を倍加することゝなれるを以て從來稅率の稼度を釀造し來りたるものに取りては聊かならざる增率なるものゝ如きも、朝鮮の如く自家釀造の比較的盛なる地に在りては各自其の所要數量を釀造する上に於て極めて便利なるのみならず其の稅率も亦結局著しき增加にあらざるべし

◎仁川調合米の弊

從來乾燥程度の充分ならざる米が昨今の如き不順なる天候に遭遇して變質を來す虞れを以て當業者は之等比較的不良種の在庫品を取出して一夜二夜(風入は夜間を可とす)乾干を行ふ例尠からず然るに斯の如き弊を避くる爲め調合米と稱する一種の混合せる品種を調製する弊仁川當業者に行はれつゝあるを屢々耳にす去りながら乾燥程度充分ならせば雨期に遭遇するも何等杞憂するに足らず現に東拓會社及び其他農場に於て製せる乾燥充分なる米は變質せざる事は事實に於て之を裏書證明せり而して從來仁川に於ける庫入保管米にして事實上何等變質を見ざるが如き實際望むべからざる事なるが故に仁川當業者が庫出乾燥を行ふ習慣を作りたる所以なると共に近は畢竟するに乾燥不充分なる爲めなるは前述に於て明なる事實なりとす而して之等は現物を持越すに於て至當なる注意なるが茲に最も忌むべきは幾に述べたるが如く此變質を防ぐ手段として調合米を製するてふ事實なり而して如斯手段は甚だ悅ぶ可からざる習慣なるを認めつゝ之を行はれつゝあるが如し一體乾燥充分に行はれざるが故に調合米を製するの餘儀なきに迫まられつゝあるは事實にして調合米を製する一例を擧げんに該方法は現に變質せんとしつゝある米或は已に多少の變質を見たる品種のものを他の良種のものと混合して一の包裝を行ひ之を市場賣買に上すものを意味す此方法は寧ろ取扱業者の最も忌む處なるも從來乾燥不充分なるが爲め勢ひ止むを得ざるものとして行はれつゝ有るものなるも仁川米が內地市場に於て鮮米の聲價を損すべき事態は免かれざる而已ならず延いて朝鮮各道の產品に比して非常に劣るの事は既ち調合米を製する惡弊ある事は爲めにして鮮價の向上を計る能はざる素因となすは明ち是なり此點に就き當業者は當業者の大なる反省と努力とを促して止まず之れ內地市場に於ける鮮米の品位を造らしむる所以ならずや同後調合米に就ては尙充分の調査を遂げ具體的に報道する處あるべし(仁川支局)

◎東拓の林檎と葡萄

東拓の所有に係る蘋果樹園の林檎は本年非常の豊作にて之れを昨年に比すれば二倍以上の收穫ある見込なるが月末より八月に亙り紅魁祝等を市中に出し更に九月より最も產額多き倭錦を採果し盛んに南北滿洲にも之れを仕向くる計畫なる由又同社果樹園の葡萄は最も氣候に抵抗力あるレーデーワシントンのみ栽培し居れるが本年各果樹園共多雨の爲失敗せしも東拓の栽培に係るものは頗る良品成熟し近く市場に出すべしとの事なるが市價は多少高かるべしと

◎京木道路工事 京城木浦間

京城木浦間の一等國道に屬する忠南論山より全羅北道々界に至る區間は今春來土工を地方廳にて農民に賦課し工を急ぎしが土木局京城出張所にては右區間の橋梁工事を受負ひに附したるが此程全く竣工したりと

人事消息

▲砂林啓太郎氏(殖產銀行[illegible])二十二日夜入京浦尾へ
▲暉峻治郎氏(總督府判事)二十二日夜入京不知火へ
▲井上主計氏(全南道事務官)入京中の處二十三日朝退京

■南言北語■

カーパシアン山脈を横斷した露軍の先鋒隊は愈々洪牙利に乘り込まんとして居る▲洪牙利が動搖を始めたらしいのは最近の洪牙利の南部地方では既にから百姓共は大に窮し切つて居る▲肉に渴した彼等は山や森に這入つて小鳥迄も食い盡した結果▲殆んど其の形を見ない樣になつたが其の代り森や林は害蟲の繁殖で稍頻一點の緑を留めぬとの事だ▲之れむや這入つた露兵も驚くのだらう▲ヴエルダンの佛軍が健闘しつゝある事はたしかに佛軍の歷史を汚さぬ勇悍な行動として世界の人は認めて居る▲此の戰鬪中には頗る面白い愉快な話も多いらしいが彼の有名な死人丘の隣りの三〇四高地の爭奪戰の際▲獨軍の毒瓦斯の爲守兵の佛軍は大抵戰死し一隊將に全滅の慘狀を呈せんとした▲此の上は後援兵を求めねば同地は陷落するより他はないと云つて後方に報告する總ての機關は何れも破壞されて居る▲其の時一人の喇叭卒は急に瓦斯除けの面を摑きのけて一段高く喇叭を吹奏し危急を後方に傳へた▲忽ち其の喇叭卒は瓦斯の爲に斃れたが一隊はお蔭で危急を脫れた▲惜哉此の喇叭卒の名を逸したと近著の外紙は報じて居る▲正に之佛蘭西の白上源次郎か▲爆彈事件の主謀者福田和五郎の養父は明治初年有栖川宮殿下群馬縣下御成の時其筋へ願て自邸に御成を願た▲所が近郷の人々から不敬だと云つて非難があまり高くなつて遂に腹掻き切つて自殺したと云ふ▲親子とも妙な因果を擔つたものだ

◎佛軍勇奮陣地奪取

巴里廿日夕發表の公報に曰くソンム北方に於て佛軍は二十日朝得たる陣地を鞏固にしつゝあり佛軍は午後に於ける攻擊に於てエストレーよりベルマンドリユーに至る獨軍第一線陣地全部を奪取し我が戰線を擴大せり二十日の戰鬪中我軍はソンム河の兩岸に於て捕虜二千九百名大砲三門機關砲三十門及び多量の軍需品を獲たり(東京特電)

◎毒瓦斯彈砲擊猛烈

ヘイグ將軍二十一日正午發表の公報に曰くバゼンチン、ロンゲバル線の北方に於ける英軍はハロルニ、ボアデスフオロー迄進出し同所の敵を擊攘せり然るに敵は夜間毒瓦斯彈を以て猛烈なる砲擊を加へたる後逆襲を行ひ森林の北部に侵入したるも南部に於ては英軍を擊退する能はざりき西方ライプチッヒと東方デルビエの間に小戰鬪間斷なく繼續せるも其の他は何處も變化なし(倫敦電報)

◎釘の供給過剩

如し(釜山支局)

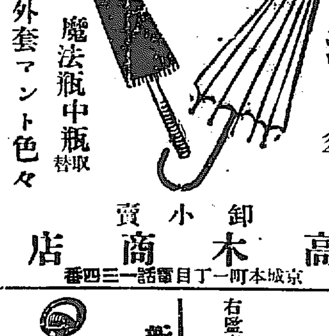
本邦に於ける釘の[illegible]圓唱へなりしより當時の本邦製二十圓唱へなりしに比較する時は二圓の差あるより十萬樽內外の注文を[illegible]

講談落語 化物くらべ
涼風(湧く)銷夏の好侶
七月十五日發行 口繪 定價廿八錢 郵稅五錢
東京本町 博文館

文藝倶樂部 增刊
身延山猫の化物 / 貝塚の化銀杏 / 上月城獺退治 / 一休和尚の化物 / 花柳小說 歌占……森 鴎紅 / 網島鯉の化物 / 團十郎の猫 / 蜘蛛の化物 / 小笠原狐の化物
▲らしかれの說 ▲旅の過去 ▲蛇ケ淵の後家 ▲要するに大イカ物 化物つかひ 雀の化物 化けろく 質店の化物 ▲千曲川畔なる化物 ▲現代化物競べ ▲幽靈三つ ▲私の好きな夏の女

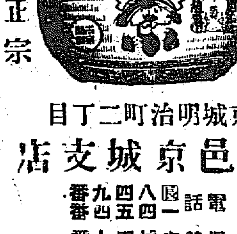
日韓書房 新版報告
源氏物語評釋 池邊義象 田正憲 共著
高杉晉作 横山健堂著
誰にでも出來る電氣工學 西田須一著
歐洲現代政治及學說 小野塚喜平次著
實地應用鐵筋コンクリート工學 瓜生康一著
京城本町二丁目

直輸入 土木建築 金物商 諸官衙御用達
千代田生命相互保險會社代理店 名古屋帽商株式會社代理店 日本石油特約販賣店
京城本町一丁目 佐野彥商店 電話一六三番 振替京城一二〇番



東京製鞄 旅行用具一切 雨合羽 色々 ゴム引マント 防水布外套マント色々 魔法瓶中瓶替取 洋傘
卸小賣 高木商店 京城本町一丁目電話一三四番

明治公債株式會社朝鮮支部 ▲外務社員募集 京城府東拓會社隣 電話一九〇八番(振替京城二五五〇番)



比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 八四一 九四五 番 振替京城五七番

池田季雄 イケダ小兒病內科醫院 京城三越呉服店前(入る旭町四丁目) 電話 醫院 一二三四 自宅 八八〇番

京城本町二丁目花月前 佛具調進 電話一五七一 小倉佛具店

第廿參回決算報告 (大正五年六月三十日)

貸借對照表 借方(資產ノ部)

科目	金額
建設費	壹六壹、壹參九・八〇五
土地家屋	壹壹、四五七・四七〇
船舶	七八五・六壹〇
給水備品	九七・八五〇
什器	九〇七・〇〇〇
未收入金	參四四・九五〇
當座預金	貳、五五六・七四〇
現金	貳五壹・七八〇
合計	壹七七、五四壹・貳〇七
株金	壹五〇、〇〇〇・〇〇〇
債務手形	參、〇〇〇・〇〇〇
積立金	壹六、八〇八・參貳〇
繰越金	四、九四七・四九七
未拂金	參壹貳・〇參〇
當期利益金	貳、四七參・參六〇
合計	壹七七、五四壹・貳〇七

損益勘定

科目	金額
總收入	八、貳八四・貳八〇
總支出	五、八壹〇・九貳〇
差引當期利益金	貳、四七參・參六〇
前期繰越金	四、九四七・四九七
合計	七、四貳〇・八五七

此分配方法

科目	金額
積立金	五〇〇・〇〇〇
賞與金	貳五〇・〇〇〇
配當金(一年一株一圓四朱)	參、〇〇〇・〇〇〇
後期繰越金	參、六七〇・八五七
合計	七、四貳〇・八五七

右之通ニ候也
釜山棧橋株式會社 取締役社長 迫間房太郎 取締役 大池忠助 同 豊田福太郎 同 井谷義三郎
右監査ヲ遂ゲ共正確ナルヲ證ス 監査役 吉川留吉 同 內山米太郎

新荷著 スヰツル製 懷中時計
[illegible]
右は今回新着の商品にて本商會限り之を特に[illegible]
時計蓄音器、ミシン機械直輸入商 自轉車、洋酒、各國貨 イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

夏の午前……往十里にて……

國境吟行(一)
江流を艀に棹して下る 一本價八百圓の山人參
白水參謀長談

出發以來季は雨期に入り晴雨相半するの間を旅行したが幸にして此の爲めに行程を緩する程の事は無かつたが、中江鎭に到るに及んで天候險惡と化り江水亦増加して來た。最初の豫定では鴨綠江の左岸に沿ふて義州に下る筈だつたが、道中渡船なき許多の小流横はり到底豫定の遂行は難しいとの事

◇天候も惡し 止む無く計畫一變、江流を艀に棹して下る事とする。七月一日夜中江鎭の守備隊を出で中江鎭町の吉田屋と云ふに投宿する。艀に乘るに便あるが爲めである中江鎭は人家散漫なれど日人二百鮮人四百、夏季に至れば日人は倍加し四季に應じて增減常なしと謂ふ是れ伐材が季節による爲めである。鴨綠江上流地方での用器よき・見當りとして貨物の出入も多いと云ふ。中江鎭を辭せんとして一詩あり

朝發中江向義州 青河此去路悠々 爲風爲雨從天意 無遲乾坤一葉舟。青河は鴨綠江の別名で元鴨の頭の綠色なるに因ると古書にある。中江鎭は

◇此の旅行中 最も難遇の便遠惡の地で又恐らく朝鮮一であらう即ち京城日報は其日附から十六日半月の後に初めて見る事が出來る之は京義線を汐州迄鐵路により其處から陸路郵送され然らば新義州から鴨江郵送すれば奈何と云ふ人もあるが之又早くて十八日遲ければ二十二日を要すると云ふから矢張り現行のものが最も捷徑なのである我輩の行つた咸興からの線も矢張り同樣若しくは夫れ以上の日數を要する。可笑しかつたのは我輩の歸來數日の後司令部の食堂で軍司令官が『今日君の中江鎭からの繪葉書を受取つたよ』と云ふ挨拶のあつた程である。我輩は其れでも歸延

◇豫定外の處 迄寄祭した 三日朝六時艀に乘り水行十八里にして午後四時慈城江口に著し舟を停めて陸行四里慈城守備隊に抵る。日人八十鮮人一千と稱す山人參の名所で旅館加藤主人鮮人の山人參を賣込に供したが五葉系の山人參を賣込に供したが五葉四果、果は麻の實に似てゐるので二百年を經過したものだと謂ひ、更に七葉四果となるには優に一千年を經るを要し其値も一本八百圓を稱するとか謂ふ。其捜索を務す者一年に一本を發見せざるあり、此爲めに山入りを爲すも多いとなり

園典侍御暇乞
三十年間宮中に奉仕

明治天皇御在世中より宮中御内儀に奉仕せし典侍從三位勳三等園祥子刀自は今度御暇乞相成りたるを以て刀自は本月限り御暇を賜はる事となり實家なる伯爵基資邸に入る筈なるが陛下には刀自が三十年一日の如く宮中に奉仕せし功勞を思召され御紋章附蒔繪手函一個並に御目録一封を下し賜ひ尚退官後も參内の節は前官の待遇を賜はる旨の難有き御沙汰ありたり(東京特電)

海賊は獨逸人
臺灣近海に出沒す

過日香港より大連に入港せる滿鐵運炭船泰平丸船員談に依れば近來臺灣近海に出沒せる海賊船には獨逸人數名指揮官として乘組み小銃數十挺を以て通行の船舶を脅迫しつゝあるの事香港政廳より注意を受けたれば航路を變じて航行したるが海賊獨逸人は曩きに馬尼拉に逃げ込みたる獨逸汽船乘組の高等海員ウイツツル、ラーベールグ等の一味らしき聯あり彼等は馬尼拉に遁入後約四箇月は所在汽船に石炭を滿載し機會あらば逃出せんと企て居たるも日本軍艦が港外にありて嚴重なる監視をなす爲め脱出する能はずその間に自然生活の途に窮し下級船員は全部解雇し一船僅かに七八名の高級船員居殘りて石炭の賣喰ひをなし居たるも本年二月頃より其石炭も盡き三月中旬頃には遂に獨艦十七隻の各船長鳩議の結果船舶の附屬品を賣拂ひて俸給に充つべき旨米國官憲を通じて本國へ紹介せしも何等の回答なきに春に腹は代へられず非常手段を執るに至りしなり

果物の外は食はぬ
奇しき露國の皮革商人

二十日朝の汽車にてブルーク(三二)と呼ぶ露西亞人哈爾賓より大連に來り信濃町露西亞人旅館に投宿せり同人は皮革商なりと自稱しをり身長五尺三寸位黒髮痩軀にして一見東洋人の如きも非常の變り物にて著早々旅館の人々を驚かし居れるが當人の語に果物以外パン肉類其他當人の食物は一切口にせず其で廿六年來未だ曾て不健康を感じたる事なし一體原始時代の人間は草根木皮等を食して何れも數百歳の壽齡を保ちしものにて人文發達に隨ひ美食の風起り同時に人間の腹中に塡塞てふもの發生し之が爲め壽命漸次短縮され遂に百歳に充たずして死するが普通となりたり然るに自分は日常殆んど原始時代の人間と同樣の生活を爲し而も一種不可思議なる靈感に觸れ居るを以て百歳は愚か大露西亞帝國の存在する限り決して死する事なきを信じて疑はざるものなりと大眞面目の大氣焔に人々を煙に卷きをれるも狂人とは思はれず兎も角風變りの露人なり(大連)

ナイヤラ河の瀑布
――政勇の夢物語と 音羽家の女將の英語――

回『姿、ナンヤナガツのはくふな見ましたが』度胆抜かれて見たのさそつくりだつたわ、水が彼方からも此方からもそりやもう天の上から降つて來る樣に落ちて來るのですの。姿、その大きな凄まじい夢の男らしさにすつかり惚れ込んで恍惚と見惚れてネすとれ何日の間にか姿の後方に一人の大きな西洋人が立つてるんですの其西洋人が俺の言ふ事を聞けつてなことを言ふんです。近くには誰一人居ないし到底も力づくでは敵はないし是れや惡しても此の洋人の言ふ事な聞かなさやおならないものかしら……眼だけど――ヱ、ようこざんす――と思つて言つて不圖見ると其西洋人は何時の間にか巡査さんになつてるでせう……』

回『一體お前は何の話をしてるんだい？』『姿の夢の話してるんだわ』『何だい、人を馬鹿にして』其處で一同は大笑ひになつたが

回其夢物語の女主人公たる音羽家の政勇と言へば、ウム彼の政勇と言つた彼の人れ、とずくに大抵の人には見當がつく姐さん株なんだが、夫れが成る座敷で前曲な何して突然夢物語を始めたんだから堪たつて『一體何を話してるんだい？』と訊く譯だ。

回一體夢と云ふものは本人の知つてる事、覺えてゐなくつても昔、耳や眼に觸れた事が夢中に意識によつて來るんだ相だが、政勇の夢には何がそれになつてるのだらう？――と或人が政勇の夢の分析をしたんだ。世間がいくら忙しくなつたつて讀者の夢を研究する位の餘裕は未者や粹人には無くてはならないものだ。回お耶となれば何處迄も、アフリカの殷け付くの場らしい靜いた笑ひに占領された。

回『醉漢の中落も…極樂の鐘の聲の上迄も――と不斷の灯も暗い櫻町から訣ずの谷はめヴァイオリンの音につれて洒く燕顏的紙函。然も戯詞が漂泊の生涯にある藝人の悲落的な氣分をそゝらないで居してゐやう。亞米利加のナイヤラ河の瀑布と云ふ名の節ふ異國情緒はいつともなしに夢に迄浸み込んでゐたのだ

回社動寫眞はまゝ喧嘩迄する程に藝者の好きなものだし、西洋人から宛な聞かされ樣さする處など藝者と云ふ生業の一端を覗かせてゐて興味深い

回――と頻りに感心してると側から突然『西洋では誰もみんなはくふさ言ふそうですヨ、英語で瀧さ云ふ事は總て滌汗なんと云ふそのはくふと……』

女の生血を取る

全北井邑郡と全南長城郡の間に介在する白羊山の頂上に住する樵夫金(某)(四)が自宅に於て本月中旬鐵刀を振ひ妻黄(某)の股間を斜に三寸斬り下げ之を止めんとせし雇人除某三の頭部を斬り付けて長さ二寸の傷を負はせたる爲め兩人とも生命覺束なし其原因は金は迷信深き男にて今般或事情より大望を起し其れに就き女の生血の必要を感じたりとて妻を說き遂に納得せしめて此兇行を爲せしものにて長城、井邑兩憲兵分隊より憲兵出張取調の結果犯罪地は井邑管内に屬するより目下加害者は井邑分隊に引渡し取調中なりと

子を喰ふ鬼夫婦

江原道平昌郡大和面上安味里飲食店李周夏(五)妻方姓女(五)の兩名は同里の李浩善が二男學永(二)を殘して妻の金氏に先立たれ其養育に窮し居るを見て自分等夫婦は天主敎徒にて其の敎旨に依りて斯かる者を救助すべき義務ありなど巧みに李浩善を賺きて學永を引取り其養育料名義の下に浩善の所有家屋一棟、畑四斗落を無代にて領得したる後學永をば虐待し爲め間もなく學永は營養不良に陥り死亡するに至りたること發覺し鬼夫婦は其筋に引致されたり

元山の大相撲盛況

二十三日の大相撲初日は早朝よりの曇天なりしも十一時頃より青空を表はし來りたれば稽古最中より各種團體及び一般の觀客漸次入場し午後二時頃は殆んど滿員の盛況を呈せり終る(元山特電)

財布を拔き取る

京城杏村洞吳聖淵(二)は十八日夜高陽郡祥涼里飲食店淸涼館にて飲食中俳客金宋哲が幾分の金員を所持せるを探知し同人が便所に行きたる際上服より現金九圓餘金指環二個二十三圓在中の財布を拔き取りて逃走し同夜仁川に赴き金指環は僞名して入質し敷島遊廓にて豪遊の上翌二十日自宅に歸りゐたる所を高陽署の手に御用となる

盜んで土中へ

平北雲山郡北鎭面鎭洞雜貨商柴田次郎平方雇人田畑元國(二七)は五月十五日夜家人の不在中現金百二十圓を竊取し之を倉庫内の土中に穴を穿ちて藏匿し置き本月十五日夜家人の外出したるを見澄まし件の金員を掘り出して同道寧邊郡八院面頭龍里迄逃げ延びたる所を追跡したる北鎭警察署の警官に取押へられたり

豹に咬殺さる

慶北善山郡高井面内又洞居住李某の次女李永植(二)は去る十五日正午頃實兄及び附近の子供數名と共に自宅を距る西方約十五町の河原にて遊び居りしが何處よりか一頭の大豹現はれ出て何心なく遊び居る永植に飛びつき頸部數十箇所に咬みつきて卽死せしめ後方山中に逃走したり此急報に接し李の家人は現場に驅けつけ一方洞民に急を告げて豹狩りを行ひしも遂に發見するを得ざりしと

五名を慘殺す

新潟縣刈羽郡刈羽村大字富士太郎方へ十九日午前一時頃一名の兇漢押入り富士太郎(四五)妻そま(四七)二男留明(一四)四男淺(七)四女うめ(四)の五名を慘殺卽死せしめ寢室の床下へ放火して逃走したるを村民が發見し火を消し止めた

矢野課長令息葬儀

矢野課長の令息信一氏の葬儀は二十一日午後二時半より…(以下略)

△浪花館 …
△黄金館 …
△紀久八錦糸 …

讀者文藝 (一等には九十錢の景品券を呈す)

▽一口噺

○凸坊『雨でやん卵は鳥の子たれ―何坊『ウンニヤ鳥は卵から生れるんだよ』(一等) 仁川本町錦木俊乃

▲醉漢『誰だい人に打付かつたのは』按摩『ハイ盲目でございますが』醉漢『盲目が夜間歩くから』 深川 耕 醒

▲甲『朝日は内地より梅雨が一箇月遲れるて云ふがそれにしても餘り長降りだ子―』乙『日韓併合の結果さ』 京城 笹野一郎

▲甲『バックツ雜は冬寒く夏暑いので困るナ』乙『之がほんとのトタン(塗炭)の苦しみと云ふのだらう』 京城 桜谷芳枝

▲相撲好き『相撲へ行かないか』芝居好き『芝居は何だい』 義州 松月

▲讀者『先日汽車の中で死んだ人があつたが聞けば何たる』 京城 嵐

▲主人『雨が降り續いて居るナ』 …

▲醉漢が石に躓いて倒れ起き上ると又躓んだので『エヽ忌々しい二度躓く位なら初めに起きなければ宜かつた』 京城 極樂生

回元山の一愛讀者から前回の一口噺一等當選者『ふ注意を受けましたので調べて見ましたら婦人世界に出て居た物と同樣であり ましたから右は無効にしました(係り)

新め物

謎『夕立と掛けて』 締切廿三日 發表廿五日
狂題『翳明』 同 廿四日 同 廿六日
俗謡『夕顏』 同 廿五日 同 廿七日
川柳題『巳』 同 廿六日 同 廿八日
物は付『馬鹿〳〵しいもの』 同 廿七日 同 廿九日
次回一口噺題隨意 同 廿八日 同 一日

▲募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲雅號は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以内の事▲此規程に違ふものは沒書

◉取消

拜啓京紙七月廿一日發行第二一八五號紙上に於て(油斷のならぬ保險の契約、破保險者は警戒せよ、保險會社の發行問題)との見出を以て暗に保險會社に關する記事掲載相成候處如何なる點が油斷ならぬか破保險者は如何なる點に警戒すべきか又總て會社の破保險者に對し何等…御掲載相成候記事は弊社の名譽信用に關し甚だ迷惑に付取消方此段御依頼申上候

共保生命保險株式會社京城出張所長 永井新三郎

涼味萬斛
木の下蔭の納凉より

靈藥
弱き御婦人は持藥として
中將湯を召上れば
酷しい暑さも
身體に障らず何時も無事

■中將湯は醫學博士諸大家の稱讃を博せる世界唯一の婦人良藥なり似て非なる有觸れたる賣藥と同一視する勿れ

中將湯主治効能
◎子宮病 ◎內膜炎 ◎こしけ ◎氣ふさぎ ◎脊肩こり ◎難產流產 ◎血ぶさり
◎血の道 ◎腰加答兒 ◎下腹痛み ◎痛ぶり ◎逆上頭痛 ◎產前產後 ◎月經不順
◎婦人神經 ◎白帶赤帶 ◎胸先差込 ◎夜眠れず ◎腰足冷込 ◎つわり ◎經期腹痛

定價
二日分 二十錢
四日分 卅五錢
一週分 六十錢
二週分 一圓十錢
三週分 一圓六十錢
五週分 二圓五十錢
十週分 四圓五十錢
廿週分 八圓五十錢
○加減藥あり存應詳レ(御申込あれ)
一週分 七十五錢
四週分 二圓五十錢

婦人衛生手引
御申込次第無代進呈(但郵券二錢)

本舖 東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六二番六三番 振替口座六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南二十五番 振替口座四五六番
■中將湯は世界到處の藥店にあり

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證
最上 醬油 キハク

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

…れる捕虜は千六百名以上なり小亞細亞の露軍はグミツシユカネを占領せ…

…一箇年約二萬箱位なりしに本年は是れに反し石油騰貴の爲め其需用額著しく…需用額は恐らく一萬二千箱以上に達することなかるべく是が原因は云ふ…は一箱に付七十五錢の値上げなりしも目下一箱五圓四十五錢の高價を保ち…理由に不測の結果…各需用者共互に其の使用を節約し從…きにあらざれども、釜山は他の地方に比し比較的電燈料高く京城の如き…の需用額を減少せしむ…が、抹殺を見るは容易ならざるもの…の剩餘を生じ居れるに拘らず昨年九月頃の米國に於ける價格は一噸十八…下値に在るの奇現象を呈するに至…市情頗る軟弱なり(大阪)

女鳩

渡邊默禪

「五四」大きな秘密

秀子は悲しさうな聲で、

『ね、母様。あの住江といふ奴は眞實に私にとつての惡魔ですのよ。母様の居らつしやる所で、どういふ生活をしてゐらつしやるといふ事まで伯父さんから聞つてよく知つてましたけれども、つひ今日までといふものは、飛立つやうな思をしながらお尋ね申す譯にもいかず、只お懐かしい慕はしいで泣いてばつかり居ましたのも、寧ろ彼の住江に氣兼をしたからなんで御坐いますの。何かと申すと直に私しの缺點ばつかり拾ひ上げてはお父様へ讒訴するやうなことをしては仲を裂かう〳〵として居る様子が、はつきりと私しに見ゐるんですもの。眞實にどのくらゐ口惜しい思をしたか知れませんわ。さうして始終鳩さんの贔負ばかりして、彼の子のことなら非を理に枉げても、よいやうに善いやうにとお父様へ取做してゐるんです。凡てがそんな風なんですもの、倘しも私しが秘密に母様に逢つたなんといふことが知れたら、どんなことを悟るか分つたものぢやありませんの。彼女が此の家に居るうちはいつ何時晴れて母様にお目に懸るなんてことは到底能きあしませんわ。私し、それが口惜しくつてなりませんのよ、母様。』

手をかけた母の膝を搖ぶるやうにして、しくしくと啼き出した。重い點頭にそれをうけた秤子は、やゝ肉の酷くなつた膝に、到底の知れない神秘な微笑をにやりと浮かして、

『いゝわよ。そんな女が一人や二人居たからつて、多寡をくゝつておでなさいな。大河野の家族とか何とかいふのなら、問題にもなるけれど吹けば飛ぶやうな傭人風情ぢやないか。いざとなりやお前の考へ一つで、紙屑を投るよりもまだ無雜作に處分のつくしろものだよ。何ですね、それつぱかりのことに……打棄つときなさいな。』

勵ますやうに言つてから更に、

『それよりも大事な相談は……ほら過日の晩にちよいと話して上げたでせう。あれについてお前、考へて見ましたかね。』

『は、』秀子は面を擧げて眼を拭きながら『考へて見ない譯ぢやありませんがね、母様。どうしたつて私、此の家を相續するなんて譯にはいきませんね。觜うでせう、第一鳩さんといふ系統の正しい子供があるのに庶子の私しが横合から出て、その權利を引奪つて了うなんてことは、法律の上から言つたつて能きないとせやありませんか、それにお父様にしたつて、私しよりは鳩さんの方を可愛がつてゐなさるし、傍にいろんな附物もあつて、みんな寄つて群つて鳩さんの味方をしてゐるんですからね。太陽が西からでも上らないうちは……。』

『ちよいとお待ちよ。』秤子はそれを止めて『つまらないことをお言ひぢやないか。家の相續は嫡子がするものだつてことは今分つた話ぢやない、そんなことを研究してくれつてお前に頼みはしませんよ。普通では能きないことを能きるやうにして上げたいと思へばこそ、考へて御覽なさいとあれほど念を押したのぢやありませんか。』

『だつて母様。どんなに考へたつて能きないものを無理に……。』

『そりやあ、よござんす。只一言お前に聽きたいことがあるが、一體お前は、この大河野家を相續して、何位から財産までそつくり御自分の物にしたい、と望みますか望みませんか——確かに能きるといふ見込のついた時の話ですよ。』

『そりやあ被仰らなくつたつて……能きますことなら是非。』

『解うなりたいとお望みなの。おやお其事は一切私と叔父の方に委せて置きなさい。いづれ近いうちに何とかなるでせうから。』と何氣なく言つてから、急に語氣を強めて『だけども秀さん、斷つて置きますよ。この望を成功させるまでには、お前の身の周圍にどんなことが起つて來るかも知れないが、その時に吃驚したり狼狽たりして、私との秘密をうつかりお父様に話したりすると、それこそ大變なことになりますよ。何事があつても冷たい目で眺めて居なくちやなりません。よくつて、秀さん。』

『はア。』秀子は懸念らしく頷いた。

『よござんす。それでは話の序に最う一つ私の大きな秘密を……。』と云ひかけて、急にぴたりと口を噤んだ。そして險しい目で前の方をじつと覗いて『誰か來たんぢやないかね。ちよいと見ておくれな。』

鼈甲な見る眼鏡鍍及マグネツトな　三浦天龍堂眼鏡部　京城本町二丁目　電話一〇〇一振替三〇四

齒科診療　京城櫻井町大正館隣　滿田齒科醫院　電話取次二七〇番

書画用　純畫絹　京染呉服商　たまや出張店　京城水標町二　電話一九六番

新刊紹介

▲幼年●七月讀本　小學四年生以下の家庭讀物として最も興味あり有益なるものなるべし、海の話、鶴の話び、日本の國、明智光秀、富士の歌等二十數篇の話を教訓たると同時に幼年の讀書力を増進せしむべし（二十五錢東京市日本橋區檜物町）

▲實業之世界（臨時號）鐵面と熱心三宅雪嶺、支那人と其強味『宮崎民平』月給取から雜貨店經營まで『探谷學太郎』外の外一百名士の發生振り遊び得る人遊び得ぬ人、母の錦見文學十三號（東京市麹町區有樂町一の四其社）

▲母の友育兒通信（七月號）乳兒の恐るべき夏季下痢、吾兒を強くせんとする注意、兒童に於ける早く見出す方法等外子供で……（十二錢東京市小石川區竹町六四其社）

▲少女畫報（八月號）田舍娘の小唄、うきぐさ、女學校時代の記、百科問答、私と人形等を收めて居る。（十六錢東京市京橋區南鍋町一東京社）

▲學生の●●●八（少年日本學生號）本郷中學八郎誌山田長政、支那在住の日本人の勇士、交通機關の不備なる時代に於ける……等も近く海外に雄飛せる精神を以て今日の少年に本誌を讀ましむべし……（二十錢東京市京橋區）

▲判例（一の四）依れて來た疑何ならざる好評既に嘖々たり本號よりは從來の民事、刑事、行政諸判例及び資料に加ふるに更に判例要旨、關係條文索引を以てし紙數を倍加し面目を改め内容に於ての改良を試みたり法律研究者には必須の好誌（二十二錢東京市京橋區仲裁堂）

▲道の友（七月號）天理教布教雜誌也本號には天理教より見たる思想問題、天理教の懺悔と教祖の苦難、天理教と經濟問題、天理教と婦女界（六月號）夫婦は如何に協力すべきか、子供を丈夫に育てる秘訣、玩具の話、夏向の料理と食物等を收む（十五錢奈良縣丹波市町大字三島八ノ其社）

▲女の世界（東西百美人寫眞號）私の見たる男女の問題『森律子』我儘と主義を混同する女『青柳有美』避暑地の戀のローマンス、京阪艷女傳『吉井勇』新派劇心の新研究『宮柳有美』男の誘惑、女の誘惑、第二期の新らしい女等尚備（二十三錢東京市麹町區有樂町一の四實業之世界社）

讀者の領分

▲縞打直しとやつて來る朝鮮人に二貫目許り古綿の打直しを頼んだ所夫限りになつた（馬鹿見太郎）▲今年は何故毎日雨が降るのだらう斯う降られては氷は皆流れてしまひ一向に客足がない（氷屋）▲京城の某牛乳屋の主人が借金に困つた末經驗ながらも金樋を腰にして數箇月間苦心探鑛して遂に江原道の山中に一大金鑛を發見し某鑛業會社に五萬圓で權利を讓るやうになつたといふ（山師）▲公衆衛生取締の嚴重なるは洵に結構なれど南米倉町市場に米倉町電車停留場より一度足を踏入れんか大道の横に塵芥箱お雜鬼と共に惡臭紛々此處許りは治外法權なるや（毎日實見生）▲ミシン販賣者と稱する者婦人のみの家にて押賣的行動に迷惑する方多かるべくと存じ紙上を拜借して之を矯正致度（大和町生）▲水狂生の申す如く水道の設備を完全にする事が第一の要義と存候水道使用の節約は各自の公徳心を倍々發揮せしむるの必要は認め候も使用料の二ケ月分前納家主集金人が闘慢なる態度で徴收し水道の人足風情の者が入釜敷使用者と雜言を吐くも威服不致候（大和婦人）

●富士山頂生活

[illegible]居るのに飛脚が[illegible]日の山仕舞まで▲天風吹き雨ゆる[illegible]で名古屋地方の暑さに較べると頓と▲骨身を砭す寒さに驚い[illegible]なぜスタンプ捺す手も凍る許りで[illegible]郵便を扱つて居る通信事務[illegible]といふのは[illegible]名物の金剛水、銀明水にも神[illegible]日なぜ首を縮めて桑原を[illegible]て居る[illegible]

最新最良の模範的家庭常備藥

吾が家庭藥は、現時世界に存在せる有らゆる家庭藥の處方を集めて嚴重に審査し、獨乙ベルリン醫科大學教授及び東京帝國大學醫科大學諸教授を始め、世界の醫藥學大家、六十三大博士の學説を根據として研究創製せる最新最良の理想的家庭常備藥である。下痢の甚しい時、便通の惡い時、胸の惡い時、腹痛の起つた時、腹中に蟲の寄生した時、頭や手足の痛む時、熱病に罹つた時、病に罹つた時、火傷や怪我をした時、眼病に罹つた時は、實に一家安危の岐るゝ處です。夫故に疾病の治療は初期に限るので、初期の治療を怠れば、輕症なるも重くなり、救助し得る病も狼狽へる例は往々あります。初期の手當の一と藥劑は百の治療にも勝るのです。されば、信用の確實なる藥劑の一定不變なる、最も信頼し得る吾が家庭藥を常に備へ置かれ、急に應じ得る様御用意の程を特に御勸め申します。

藥價 内用藥五種・外用藥二種 都合八種一組 壹圓七拾錢の正價を以て諸彦の御便に供します。

本月十六日京城日報夕刊を御一覽下さい。

京城南大門外停車場通　ドラッグ商會家庭藥部　電話二五六七番・振替京城四六七番

內科　小兒科　京城日出小學校前　多々見醫院　入院隨意　電話九四〇番

安全なるから赤毛染　ナイス

染て見ぬ髪の色　黑々と艶の美はしさ!! それはナイスで染た髪

五大特色　■タツタ廿分で染る　■永く褪ず剝げず　■艶々と黑く美しく　■毛の癖を癒し　■用法至極手輕

大瓶七十錢小瓶四十錢男子用三十錢　全國到る處の藥店化粧品店にあり

發賣　大阪市心齋橋筋二丁目　東京市日本橋區通油町　丹平商會藥房

七日ツケタラ鏡をどらん色白くなるゲンソ液

今東京で大評判の白美の元素色黑き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる　全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す　東京和泉橋際ゲンソ液本舖　松本藥店　小瓶二十錢　徳用四十錢

あせも湯上りに日本一の衞生御うち粉　あせしらず　サラリとして氣持よき皆様の必要品　●全國到る處に取次店あり

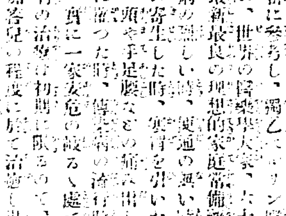
定價　四錢　六錢　七錢　十一錢　十三錢　廿五錢　外各種

東京上野　徳田多助　振替一六五四一番

專賣店　京城本町二丁目　前田酒店　登録商標　瓢水味淋　堺　藤鴻鷹

本院　京城支那領事館前　電話一五四一番　分院　龍山鶴溫泉隣　電話一一一一番　診察　京城午前自八時至十二時　龍山午後自一時至六時　中村耳鼻咽喉科醫院

閑静にして避暑遊覽に宜し　溫陽溫泉



にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は是非御用ひあれ　藥價卅錢六十錢一圓　京城黄金町三丁目　電話二九四九　山田文刻堂藥房

金泉醴泉間自動車時間

金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間

大塚農場自動車部　大邱出張所　電話一一七番

長男桂資儀葬儀の際は暑中の折柄遠路御會葬被成下厚く御禮申上候
七月二十四日
父　矢野義二郎
親戚一同

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　須磨丸　七月卅一日　後五時出帆
安東丸　七月廿七日
天智丸　七月　日
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行　津州丸　七月廿五日　後二時出
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行　信濃川丸　七月廿四日／八月九日　後二時出
○南浦、關門、神戸、大阪行　須磨丸　七月　日　後二時出
○鎭南浦、大連行　信濃川丸　七月　日／八月四日　後二時出
○大連直行　日米丸　七月廿七日　福州丸　八月六日　正午出帆
○群山、神戸、大阪行　宮島丸　月　日　後五時出帆
○群山、釜山、横濱行　福州丸　八月十二日　日米丸　八月一日　後二時出
○淸津、浦潮行（元山出帆）印八城津西湖津に寄港浦潮不寄港　安平丸　八月七日　宮島丸　七月廿四日　後二時出
○上海、芝罘、打狗行（大連出帆）湖北丸　八月十一日　後六時出　城津丸　八月九日　前四時出

御注意　○印は鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　京城切符發賣所　内國通運會社支店

朝鮮郵船出帆

○全羅丸　七月卅一日　○京畿丸　八月四日　○黄海丸　八月廿五日　○咸鏡丸　（門司より釜山各港寄港雄基行）　釜山發
○穩城丸　七月廿六日　○昌平丸　七月三十日　○鏡城丸　七月廿六日　（元山より各港經由雄基行）　元山發
○忠淸丸　七月廿五日　○平安丸　八月四日　元山發
○永興丸　毎月廿八回　（北久保、五里浦行）　元山發
○金德丸　七月廿五日　（甘浦、九龍浦、浦項各寄港鬱陵島行）　釜山發
○江陵丸　毎日　釜山發
○浪速丸　（長生浦方面寄港）　釜山發
○三浦丸　七月廿四日　（長承浦、興水、巨文島、濟州島各寄港）　釜山發
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶寶丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎ニ　（各港經由麗水行）　木浦發
○公州丸　七月　日　（各港經由濟州島行）　木浦發
○慶興丸　七月廿四日　木浦發
○慶興丸　七月　日　木浦發
○宗信丸　七月　日　仁川發
○江原丸　七月廿八日　（海州、大津浦、芝罘行）　仁川發
○晋州丸　○慶水丸　七月廿五日　（各港經由木浦行）　仁川發
○錦江丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君が代丸　七月廿一日後四時出帆
大有丸　八月一日後四時出帆
神代丸　七月廿六日後四時出帆
秀吉丸　八月　日後四時出帆
仁川海岸通　電話五十九番　高老回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽牛莊行
相模丸　八月六日　正午出帆
高砂丸　八月十六日　正午出帆
三河丸　七月廿六日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　第六共同丸　七月廿二日後四時入港　七月廿四日時十一時出
○城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）　第一阪鶴丸　月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸　月　日前入時出
阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店　本町一丁目（電話一〇八番）山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　南大門（電話二六八・二〇一七）河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　○立神丸　月　日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　○立神丸　月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　○小倉丸　月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　○小倉丸　月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　○第三琴平丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　○第三琴平丸　月　日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天與丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山府埋立新町　本船取扱店　大池回漕部